

平成23年度

事業報告書

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

《目 次》

□ 平成23年度 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会 事業報告…………… 1 ～ 64

【一般会計】

経理区分名	事業報告 (ページ)
1. 法人運営事業	2
2. 住民会費等事業	15
3. ボランティア活動推進事業	16
4. 小地域ネットワーク活動推進事業	20
5. 助成事業	23
6. 献血推進事業	28
7. 福祉サービス利用援助事業	29
8. 精神保健福祉推進事業	31
9. 生活福祉資金貸付事業	35
10. 住宅改造助成調査事業	36
11. 住宅手当緊急特別措置事業	36
12. 共同募金配分金事業	37
13. 居宅介護等事業	37
14. 移動支援事業	39
15. 総合福祉センター管理運営事業	41
16. くすの木園 (生活介護) 管理運営事業	43
17. 共同生活援助・介護事業	46
18. 障害者活動支援事業	47
19. 障害児等療育支援事業	47
20. 父子家庭日常生活支援員派遣事業	48
21. 地域包括支援センター事業 (第1圏域・第2圏域)	48
22. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	53
23. 地域活動支援センター事業	55
24. 乳児家庭全戸訪問事業	57

【特別会計】

経理区分名	事業報告 (ページ)
25. 総合福祉会館管理運営事業	59

平成23年度 社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 事業報告

平成23年度の特筆すべき活動として、まず大規模な災害による被災地支援があげられます。平成23年3月には東日本大震災、9月には台風12号豪雨災害と大規模な災害が連続して発生し、現地は甚大な被害を受けました。双方とも、被災地の社会福祉協議会が大きな被害を受ける中、全国の社会福祉協議会により迅速な支援が行われました。約100か所に及ぶ被災市町村社協が、災害ボランティアセンターを設置し、全国から集まる多数のボランティアのコーディネート業務を含むセンターの運営を行いました。本会も、近畿ブロック社協の一員として積極的な支援を行い、東日本においては気仙沼市、仙台市、南三陸町、和歌山においては、新宮市に設置された災害ボランティアセンターに職員を派遣し、現地センターの運営を支援しました。

次に、平成23年3月にまとめた、「報告書～枚方市社会福祉協議会の着実かつ創造的な経営に向けて～」で示した本会の中期的な経営計画の策定に取り組みました。策定にあたっては、外部有識者の参画のもと策定委員会を設置、8回の委員会において積極的な議論・検討を行い、平成24年3月に「枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム（第2期）」を策定しました。この計画は、資産損失によって損なった信頼を回復し、さらなる地域福祉の推進を図るための法人経営とより市民から信頼される組織づくりを視点とし、明らかになった課題への対応や本会が担うべき役割や意義を再認識し、新たな事業への取り組みについての重点目標を定めました。今後はプログラムに従い、より透明性をもった法人経営を基本とし、既存事業の充実を図るとともに、市民が期待する本会の役割などを調査することにより、新たな事業にも積極的に取り組んでいくものです。

また、本会は平成23年6月に設立60周年を迎え、12月に記念式典と本会の活動を広く市民に知ってもらうため第1回社協ふくしフェスティバルを開催しました。合わせて、法人賛助会員・組織会員等のご協力により、社協紹介DVDを作成し、関係団体等に配布しました。

既存事業については、次ページ以降の各事業報告に記載していますが、広報活動では、次期プログラムに掲げた「情報の双方向性の導入」の第一歩として、ホームページのリニューアルを行いました。

「第4次枚方市地域福祉活動計画」に基づく事業の取り組みについては、ふくしのまちづくり円卓会議（2回開催）において進捗状況の管理と評価を実施しました。コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業においては、地域や市民からの様々な相談に対し、出前による相談活動に力を入れました。高齢者や障害者の権利擁護に関する相談や対応は、今後も増加していくことが予測されます。こうした中で、福祉サービス利用援助事業では、生活支援員の1名増員を行い待機者の解消を図ってきました。

また、災害支援の中で、特に災害ボランティアセンターの取り組みが注目された年でもあり、今年度の災害ボランティアセンター設置訓練は、特に情報収集が困難な初期段階での設置を意識して行いました。東日本や和歌山の支援経験のある他市社協の職員も多数参加し、臨場感のある訓練と貴重な体験を共有することができました。これらの経験を生かし、今後「災害ボランティアセンター設置・活動マニュアル」の見直しを進めていきます。

居宅介護等事業などでは、常にスキルの向上を図り、利用者本位のサービスの実施に努める中で、課題とされている事業収支状況についても意識し、効率的な事業運営を行ってきました。

また、平成24年度から実施される介護保険法や障害者自立支援法の改正に向けた情報収集等に対応してきました。

1. 法人運営事業

法人運営事業においては、法人運営の要となる理事会、評議員会の運営をはじめ、市や市内各種団体による実行委員会が催す事業にも主催となるなど、積極的にかかわり地域福祉の推進を図った。また、民生委員児童委員協議会や赤十字奉仕団、枚方・交野地区保護司会の事務局として運営支援を行った。

(1) 理事会開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
5/24	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・地域包括支援センター社協こもれび介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・地域包括支援センター社協ふれあい介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・障害者自立支援法に基づく枚方市立くすの木園（生活介護）運営規程の一部改正について ・平成22年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について ・評議員委嘱の同意について（残任期間） ・理事候補者の評議員会提出について ・評議員委嘱の同意について（任期満了） ・新経営戦略プログラム（仮称）策定委員会の設置について 	13人
7/7	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長の選任及び常務理事、会長職務代理者の指名について ・新経営戦略プログラム（仮称）策定委員会の報告 ・枚方市社会福祉協議会60周年記念事業について 	16人
9/20	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・平成23年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第1回）について ・各種報告事項について 	13人
12/9	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・障害者自立支援法に基づく枚方市立くすの木園（生活介護）運営規程の一部改正について ・自立支援法に基づく社会福祉法人枚方市社会福祉協議会在宅福祉課（居宅介護・重度訪問介護）運営規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会居宅介護支援事業運営規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会訪問介護事業運営規程の一部改正について ・障害者自立支援法に基づく地域支援センターゆい（相談支援）運営規程の一部改正について ・枚方市地域包括支援センター社協こもれび介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・枚方市地域包括支援センター社協ふれあい介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・平成23年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第2回）について 	14人

		<ul style="list-style-type: none"> ・評議員委嘱の同意について ・基金、運営資金積立金の運用状況について ・枚方市社会福祉協議会60周年記念事業について 	
3/22	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会の報告について ・特定相談支援事業の実施について ・枚方市社会福祉協議会定款の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・地域包括支援センター社協こもれび介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・平成23年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第3回）について ・平成24年度歳末たすけあい募金配分計画について ・平成24年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム（第2期）案について ・基金、積立金の運用状況について 	14人

(2) 部会開催状況

①法人経営部会

月日	場 所	内 容	出席数
12/16	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・基金、積立金の運用状況について 「保有債券のしくみと今後の見通しについて」 みずほ証券枚方支店より報告 	5人

②地域福祉活動部会

月日	場 所	内 容	出席数
2/6	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉課事業について ・福祉サービス利用援助事業について ・CSW（コミュニティソーシャルワーカー）相談支援の現状について ・乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）の現状について 	6人

③在宅福祉サービス部会

月日	場 所	内 容	出席数
1/24	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅福祉課の現状について I くすの木園について II 地域支援センターゆい III 居宅介護・移動支援事業 IV 事業収支状況 V 経営戦略プログラム（第2期）における在宅福祉課3事業の方向性 	5人

(3) 評議員会開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
5/27	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市地域包括支援センター社協こもれび介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・枚方市地域包括支援センター社協ふれあい介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・障害者自立支援法に基づく枚方市立くすの木園（生活介護）運営規程の一部改正について ・平成22年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について ・理事・監事の選任について ・新経営戦略プログラム（仮称）策定委員会の設置について 	23人
9/30	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・平成23年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第1回）について ・各種報告事項 	33人
12/19	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・障害者自立支援法に基づく枚方市立くすの木園（生活介護）運営規程の一部改正について ・自立支援法に基づく社会福祉法人枚方市社会福祉協議会在宅福祉課（居宅介護・重度訪問介護）運営規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会居宅介護支援事業運営規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会訪問介護事業運営規程の一部改正について ・障害者自立支援法に基づく地域支援センターゆい（相談支援）運営規程の一部改正について ・枚方市地域包括支援センター社協こもれび介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・枚方市地域包括支援センター社協ふれあい介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・平成23年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第2回）について ・枚方市社会福祉協議会60周年記念事業について 	28人
3/30	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・特定相談支援事業の実施について ・枚方市社会福祉協議会定款の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正 ・枚方市地域包括支援センター社協こもれび介護予防支援事業運営規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・平成23年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第3回）について 	30人

		<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算(案)について 枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム(第2期)について 	
--	--	---	--

(4) 枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム(第2期)の策定

本会は地域福祉の推進を図る組織としての役割と責任に基づき、経営上の課題を整理・分析した上で、平成24年度から5年間の経営計画として「枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム(第2期)」を策定しました。策定にあたっては、外部有識者の参画を得て、8人から成る枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム(第2期)策定委員会を設置し、8回にわたる委員会を開催しました。市民や地域団体等から真に信頼される、より透明性をもった組織とするため、事業・財務・組織の強化・充実を図るために達成すべき7つの目標を設定し戦略を定めました。

○策定委員会の開催

月日	場 所	内 容	出席数
6/6	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> 委員長、副委員長の選任 課題の確定と策定のポイントについて 今後の策定スケジュール 計画の名称について 	8人
7/11	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 第4・5群事業の方向性の整理について 計画の名称について 	8人
8/9	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 第4・5群事業の方向性について 第1～3群事業の現状について 	7人
9/9	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略プログラム策定委員会検討概要について 枚方社協の重点事業について 基金・積立金について 	7人
11/18	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 事務局人員体制について 基金・積立金について 	7人
12/20	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 法人ガバナンスについて 経営戦略プログラム(第2期)の目次と構成について 	8人
2/16	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略プログラム(第2期)素案について 	8人
3/9	ラポールひらかた 研修室4	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略プログラム(第2期)案について 	8人

(5) 第4次地域福祉活動計画

①ふくしのまちづくり円卓会議

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざし、枚方市の地域福祉をより一層推進するため、平成22年5月に「第4次地域福祉活動計画」を策定し、計画期間を平成26年度までの5年間とした。計画推進期間において「ふくしのまちづくり円卓会議」を開催し、計画の推進・評価・進行管理を行った。

○円卓会議の開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
6/27	ラポールひらかた 集会室	<ul style="list-style-type: none"> 第1回円卓会議報告 「第4次地域福祉活動計画」の進捗状況について 地域へのアプローチについて 地域福祉シンポジウムの開催について 	14人
3/9	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> 第2回円卓会議報告 7月15日開催「地域福祉シンポジウム」報告 	14人

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動計画と地域の活動状況について ・ボランティアセンターの取り組み事例 	
--	--	---	--

②地域福祉シンポジウム ～地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進に向けて～

地域福祉を推進するため、平成22年度に枚方市は行政計画である「第2期枚方市地域福祉計画」、本会は市民が主体的に展開する計画である「第4次枚方市地域福祉活動計画」を策定した。この二つの計画の策定趣旨と役割、必要性を明らかにするとともに、地域福祉推進の主体である市民が、主体的・意識的に協力し合って支え合える地域を目指すための意識や役割の共有を図ることを目的にシンポジウムを開催した。

○シンポジウムの開催

月 日	場 所	内 容	出席数
7/15	ラポールひらかた 大研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「地域福祉計画と地域福祉“活動”計画 ～何故、2つの計画が必要なのか?～」 講師：関西福祉大学大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学部 教授 小國 英夫 氏 <ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッション 	118人

(6) 広報活動

①社協だよりの発行

号	発行日	印刷部数	号	発行日	印刷部数
112	6/1	181,500	113	9/1	181,500
114	12/1	181,600	115	3/1	181,600

※年4回発行、「広報ひらかた」に綴じ込み、市内全戸配布

②社協紹介リーフレットの作成

社協の役割と実施事業を、より市民にわかりやすく広報するために、毎年作成しているリーフレットのデザインを一新した上で1500部作成した。リーフレットは、関係各団体や住民会員募集時の自治会長、視察対応時等で配布した。

③社協公式ホームページの運営

公式ホームページによる情報発信を積極的に行いアクセス件数も昨年度より増加した。また、情報発信と運営の透明性を、より強化するために、公式ホームページリニューアルを行った。

(アクセス件数 20,286アクセス：H23.4.1～H24.3.31)

(7) 第32回枚方ふれあいフェスティバル

『夢をつなごうフェスティバル』をテーマに“障害のある人・ない人が共に手を取りあい、楽しく過ごしてもらえる”そんなふれあいの場になるように、枚方ふれあいフェスティバル実行委員会との共催で開催した。

(日 時) 平成23年6月5日(日) 午前10時～午後4時

(場 所) 枚方市民会館大ホール・岡東中央公園一带

(参加者) 約5,000人

(主 催) 枚方ふれあいフェスティバル実行委員会、枚方市社会福祉協議会

(後 援) 枚方市、枚方市教育委員会、北大阪商工会議所

(内 容) *映画会(市民会館大ホール)

題 名「ドルフィンブルー」～フジ もういちど宙へ～

上映時間 午前10時～11時45分、午後12時20分～2時05分、

午後2時40分～4時25分

*特設ステージ

よさこい踊り、踊り、和太鼓、歌、バンド演奏、手話コーラス、その他

*人形劇、ふれあいクッキー教室（市民会館）

*野外テント等での催し

各団体の活動紹介、相談コーナー、模擬店、その他

*企画コーナー

パネル展示、造形教室（紙すき・木工）、腎バンク・アイバンクキャンペーン、車いす体験コーナー 他

(8) 第23回枚方市健康福祉フェスティバル

健康・福祉推進都市宣言の趣旨を踏まえ、『健康な 体と心が 未来を開く』をテーマに、市民の健康と福祉に対する意識の高揚を図ることを目的に、「枚方市健康福祉フェスティバル」を開催。本会も主催者として参画した。

(日 時) 平成23年10月23日(日) 午前10時～午後3時30分

(場 所) ラポールひらかた

(主 催) 枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、大阪府枚方保健所、枚方市、枚方市社会福祉協議会

(後 援) 枚方市教育委員会

(参加者) 3,000人

(内 容) *脳活性化ヨガ

*講演会「認知症について」

*歯の検診コーナー、フッ素体験コーナー、8020 達成者表彰

*からだと自然の恵み「薬草と絶滅危惧植物の展示」

*歩くことからはじめよう「枚方宿健康ウォーキング」

*模擬店（福祉団体連絡会・地域共同作業所連絡会の加入団体が出店）

*ボランティア相談コーナー*人形劇（やなぎ劇団）

*健康医療相談・各種検診・診断・測定など

(9) ひらかた社協ふくしフェスティバル

昨年度で13回目の開催となった「ラポールふくしフェスティバル」を今年度から「ひらかた社協ふくしフェスティバル」として開催。枚方社協が実施する各種事業の紹介やボランティア活動、福祉団体の活動を広く市民に広報することを目的に各種催しを行った。

(日 時) 平成23年12月3日(土) 午前10時～午後3時30分

(場 所) ラポールひらかた

(後 援) 枚方市

(協 賛) パナソニックAVCネットワークス労働組合・パナソニック電工労働組合本社総合支部

(参加者) 2,500人

(内 容) *映画会「シュレック フォーエバー」

*ミニステージ&ミニコンサート

*模擬店

*枚方社協、ボランティアグループ、各種団体の活動紹介 等

(10) 枚方市社会福祉協議会60周年記念事業

本会は昭和26年に設立し、平成23年度に60周年を迎え、記念式典を開催した。式典では、社協の活動に尽力された本会の役員に対し、市長からの感謝状が贈呈され、社協会長からは、長年にわたり社協の活動を支えていただいた関係団体の皆さまに対し表彰を行った。

(日 時) 平成23年12月3日(土) 午後1時～4時
(場 所) メセナひらかた会館 多目的ホール
(内 容) 第1部:式典と感謝状贈呈
第2部:講演会 「涙を笑いに 笑いを世界に ～師匠と弟子の落語道～」
講 師 桂 福團治氏 桂 福点氏
(製 作) 60周年記念社協紹介DVD 1,000部
社協だより縮刷版第3巻(第71号～第113号) 500部

(11) 善意銀行事業

①善意銀行金銭口座収支計算書

(単位:円)

収 入		支 出	
前年度繰越金	5,403,755	指 定 預 託	福祉施設団体等 60,000
一般預託	0		
指定預託	60,000		
預金利息	866		
計	5,464,621	計	60,000

収入・支出残金 5,404,621円は、次年度へ繰り越し。

②善意銀行物品口座預託品目

ラーメン	600食	トイレトペーパー	14ケース
はがき	22枚	飲料	58ケース
タオル	424枚	マスク	9,600枚
石鹸	523個	ティッシュペーパー	840箱
		その他 食品・備品等	

③善意の橋渡し物品

ポータブルトイレ	3台	車イス	2台
シルバーカー	1台	ギャッジベッド	2台

(12) 枚方市民生委員児童委員協議会の運営支援

地域における民生委員・児童委員の円滑な活動を支えることを目的に民生委員児童委員協議会の運営の支援を行った。今年度は、市民の安心・安全なまちづくりを進めるため、枚方市と協定を結び、日頃の見守り活動を通じて、要援護高齢者や障害のある人を対象として「ひらかた安心カプセル」を配付する取り組みを行った。また、子育て支援活動の一環として、離乳食づくりを取り入れた子育てサロン「ゆりかご」を継続して行い、参加者から好評であった。さらに年間を通じて、定例会議の開催、各種の研修の実施等を通じて、情報提供やスキルアップを図り、民生委員・児童委員の活動支援を行った。

実 施 日	内 容
4月 5日	新任民生委員・児童委員委嘱状伝達式、研修会
14日	役員会、校区委員長会
27日	会計監査
18～28日	地区委員会

5月12日	「民生委員・児童委員の日」啓発活動 内容：京阪枚方市駅前・樟葉駅前・JR長尾駅前において、通行人に啓発用救急絆創膏3,500個配布。参加者(49人)
12日	役員会・校区委員長会
13日	第63回大阪府民生委員・児童委員大会 参加者(48人)
23～27日	地区委員会
6月9日	役員会、校区委員長会
14日	子育てサロン「ゆりかご」(菅原・菅原東・長尾) 参加者(16組)
20～30日	地区委員会
7月12日	子育てサロン「ゆりかご」(山田・山田東・交北) 参加者(14組)
14日	役員会、校区委員長会
19～29日	地区委員会
8月3日	新任民生委員・児童委員委嘱状伝達式、研修会、役員会
5日	夏休み児童映画大会「トイ・ストーリー3」(2回上映 入場者数延べ1,936人)
9日	子育てサロン「ゆりかご」事前研修会
9月2日	FMひらかた「子育てサロンゆりかご」取材
8日	役員会、校区委員長会
13日	子育てサロン「ゆりかご」(桜丘・桜丘北・川越) 参加者(13組)
20～30日	地区委員会
10月11日	子育てサロン「ゆりかご」(殿一・小倉) 参加者(9組)
13日	役員会、校区委員長会
27～28日	全国児協大会(青森県)
24～31日	地区委員会
11月8日	子育てサロン「ゆりかご」(西長尾・田口山・藤阪) 参加者(10組)
9～10日	地区リーダー管外研修会(出雲市民児協との交流)参加(52人)
9日	役員会、校区委員長会
21～30日	地区委員会
12月2日	民生委員・児童委員委嘱状伝達式、研修会、役員会
8日	役員会、校区委員長会
13日	子育てサロン「ゆりかご」(枚方・枚二・伊加賀) 参加者(8組)
16日	地区委員長管外研修会(京都少年鑑別所)参加(21人)
19～27日	地区委員会
1月11日	役員会、役員新年のつどい
27日	役員会、河北ブロック民生委員児童委員協議会連絡会(門真市)
2月3日	役員会
9日	役員会、校区委員長会
14日	子育てサロン「ゆりかご」(香里・五常) 参加者(9組)
20～29日	地区委員会
3月6日	役員会
8日	役員会、校区委員長会
13日	子育てサロン「ゆりかご」(牧野・西牧野) 参加者(8組)
29日	総会、全民生委員・児童委員研修会 出席(439人)

部会・主任児童委員連絡会活動状況（役員会・幹事会等は除く）

ア) 高齢者福祉部会

- 5月10日 研修会「高齢者の食生活について」枚方市立保健センター
6月7日 施設見学 介護老人保健施設「サテライトなごみの里」
7月5日 研修会「高齢者の夏場の上手な過ごし方について」枚方市立保健センター
9月6日 全体研修会「認知症の初期診断と治療について」
京都大学大学院医学研究科臨床神経学講師 医学博士 伊東 秀文 氏
10月4日 枚方市ひとり暮らし老人会連絡会との交流会（132人）
小学唱歌を歌う会「赤いベレー」、
枚方ハーモニカ同好会「くらわんかカルテット」
11月4日 管外研修会「養護老人ホーム 慈母園」
3月6日 研修会「車いす講習会」 ボランティアグループたちばな

イ) 広報部会

- 4月1日 「民児協ひらかた」第115号発行（編集会議7回開催）
8月1日 「民児協ひらかた」第116号発行（編集会議7回開催）
9月13日 施設見学「西岡印刷所」
12月1日 「民児協ひらかた」第117号発行（編集会議6回開催）
2月21日、2月28日、3月5日、 大阪府民児協連機関紙講習会

ウ) 生活福祉部会

- 4月8日 勉強会「生活福祉資金貸付制度と民生委員の役割について」
5月6日 勉強会「生活保護制度について」
6月3日 全体研修会「相談技法について」
東大阪市社会福祉事業団 常務理事 岡井 哲明 氏
11月1日 管外研修会「交野女子学院」
3月2日 勉強会「生活保護制度について」

エ) 児童福祉部会

- 年間通じて「育児教室」「ひよこ（未熟児）教室」に参加協力
4月6日 勉強会「ひよこ（未熟児）教室について」 大阪府枚方保健所
5月11日 研修会「マザーグループの実践から見えてくるもの」
NPO法人児童虐待防止協会 綱本 幸子 氏
6月1日 管外研修会「京（みやこ）あんしん子ども館」
8月5日 夏休み児童映画大会での手遊び歌
9月7日 勉強会「携帯電話での詐欺・悪徳有料サイトから、子どもを守る」
NTTドコモ関西支社
10月3日 勉強会「幼児安全法講習会」（主任児童委員連絡会と共催）
11月2日 全体研修会「やさしい心を育む童謡」
ハーモニカ奏者・絵本作家 もり・けん 氏
2月1日 勉強会「育児教室とひよこ（未熟児）教室について」

オ) 障がい者福祉部会

- 4月15日 管外研修会「第17回高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展」に参加
して インテックス大阪
6月2日 勉強会「車いす講習会」 ㈱近鉄スマイルサプライ 長田 氏
7月7日 施設見学「ひらかた・にじ福祉工場」

- 9月 1日 管外研修会「太陽公園（障がい者支援施設愛光園）」
- 10月 6日 全体研修会「地域における障がい者就労の現状と今後の課題について」
(福) あゆみの会AYUMI 副施設長 清水 俊行 氏
- 10月29日 くすの木まつりへのボランティアへの参加協力
- 1月24日 精神障がい者人権研修 映画「人生ここにあり」の鑑賞
- 3月 1日 研修会「障がい者就労の現状について」枚方公共職業安定所

カ) 主任児童委員連絡会

- 5月 9日 研修会「枚方市立保健センターの乳幼児・児童事故防止体験ルーム」見学
- 6月 6日 勉強会「児童虐待の事例と主任児童委員との連携について」
- 6月14日 南ブロック研修「ファミリーポートひらかた」見学
- 6月19日 北ブロック研修「音楽療法について」
- 7月 4日 第1回北河内ブロック地域主任児童委員連絡会議
- 7月 5日 南ブロック研修「ファミリーポートひらかた」見学
- 7月11日 管外研修会「児童養護施設 救世軍 希望館」見学
- 9月30日 中央ブロック研修「児童養護施設 子どもの家」見学
- 10月 3日 研修会「幼児安全法講習会」(児童福祉部会との共催)
- 10月31日 第2回北河内ブロック地域主任児童委員連絡会議
- 11月21日 東ブロック研修「セルフわらしべ」見学

(13) 枚方市赤十字奉仕団の運営支援

人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。社資増強運動をはじめ、東日本大震災、奈良・三重・和歌山県台風12号災害義援金募金活動など国内で発生した大災害被災地への支援の取り組みを行った。また、健康生活講習支援員の養成や救急法の普及を目的とした講習会の開催や災害時を想定した炊き出し訓練の実施、献血の啓発事業などを実施し、広く市民に赤十字活動への参加協力が得られ、赤十字運動の推進を図ることができた。

①本団活動状況

- ・役員会 5/13、9/28、2/23

月日	場 所	内 容	出席数
4/1～ 3/31	市内全域	社員制度を基本とする赤十字本来の趣旨の周知を図るため社資募集(募金)を実施。 戸別募金 14,557,902円 個人募金 1,896,976円 利 息 72円 合 計 16,454,950円	355 分団
H23 3/14～ H24 3/31	枚方市内 7ヶ所	平成23年3月11日に東日本で発生したマグニチュード9の大地震の義援金の募金箱を市内社協関係機関等に設置し、赤十字社を通じ263,422円を被災地に送金した。	
4/8	ラポールひらかた 特別会議室	枚方市赤十字奉仕団60周年実行委員会 ・奉仕団記念事業内容について	9人

5/20	ラポールひらかた 大研修室	連合分団長会議 ・平成22年度事業報告及び平成22年度決算報告 について ・平成22年度監査報告について ・役員改選について ・平成23年度社資募集(募金)について ・枚方市社会福祉協議会評議員推薦について	30人
6/24	ラポールひらかた 特別会議室	枚方市赤十字奉仕団60周年実行委員会 ・奉仕団記念事業内容について	8人
9/7	ラポールひらかた 研修室1	枚方市赤十字奉仕団60周年実行委員会 ・奉仕団記念事業内容について	8人
9/7	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長研修会 「社資募集の取り組み」について、日本赤十字社大阪府支部より 講師を招いて研修を実施した。	32人
9/12～ 10/31	枚方市内 29ヶ所	平成23年9月に奈良・三重・和歌山県で発生した台風12号災 害の義援金の募金箱を市内、市役所他、生涯学習センター等に 設置し、143,692円を赤十字社を通じ、被災各県に送金した。	
9/20～ 11/1	ラポールひらかた 研修室1	一般市民を対象に日常生活における介護の方法や家庭内にお ける看護について赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会 を実施。また、全課程(6日間)を修了した17人のうち、5 人が家庭看護部会に入会した。	17人
10/7	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長会議 ・平成23年度社資募集の中間報告について ・地域活動助成金(社資募集実績額)について ・日赤60周年記念大会について ・婦人会会炊き出し訓練実施について	27人
10/24	ラポールひらかた 研修室1	枚方市赤十字奉仕団60周年実行委員会 ・奉仕団記念事業内容について ・会場下見・打合せ	8人
11/15	大阪NHKホール	日本赤十字社大阪府支部の社資功労、業務功労等、各有功章 ・感謝状授与式に参加。	4人
11/18	ラポールひらかた 特別会議室	枚方市赤十字奉仕団60周年実行委員会 ・枚方市赤十字奉仕団60周年事業について ・奉仕団記念誌作成内容について	8人
11/30	メセナ ひらかた会館 2階多目的ホール	枚方市赤十字奉仕団結成60周年記念大会 市長感謝状及び社長感謝状・金・銀色有功章などを含む、3 5人が日本赤十字社大阪府支部枚方地区長から表彰状を授与 された。合わせて研修会を実施。テーマは「今後枚方で起こり うる災害にどう対応するか」 講師：枚方市市民安全部危機管理室長 塚原 誠一 氏	174人
H24 1/11	メセナひらかた 会館6階大会議室	連合分団長研修会 「長野県支部飯田市赤十字奉仕団との交流会」	84人
2/7	ラポールひらかた 研修室1	一般市民を対象に日赤救急法の普及のため、日赤大阪府支部 より救急法指導員を招き実施。	18人
3/9	枚方市民会館 1F 集会室	連合分団長会議 ・地域活動助成金(社資募集実績額)について	36人

		<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕団 60 周年記念大会の報告について ・婦人部炊き出し訓練報告について ・東日本大震災及び台風 12 号義援金について ・平成 24 年度事業計画及び予算 (案) について ・連合分団長就任承諾書について ・平成 24 年度社資募集にむけて 	
--	--	--	--

②部会活動状況 (役員会・定例会等は除く)

ア) 婦人部会

月日	場 所	内 容	出席数
5/23	ラポールひらかた 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・校区婦人部会長の紹介 ・平成 23 年度事業計画・予算について ・研修会 (管内・管外) について ・今後の部会活動について 	21人
7/5	大阪市西区 津波高潮 ステーション	管外研修会 災害発生時、状況に応じ迅速に支援活動が実践できるように、津波災害の様々な様子を視察。	38人
9/16	ラポールひらかた 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・管外研修会の報告について ・研修会 (講演会) の実施について ・炊き出し訓練の実施について 	21人
11/5 11/19 11/26	枚方市民会館 調理室 ラポールひらかた 日常生活訓練室	婦人部会研修会 枚方市自主防災会での防災訓練の一環で、食の不安を軽減し不自由な生活から、知識や支援技術を学ぶため、災害時の炊き出し訓練を 3 回実施。	32人
1/26	(株)大塚食品 滋賀工場	管外研修会 災害発生時、状況に応じた支援活動を行うため、非常飲料等の製造行程を視察研修する。	28人
2/16	枚方市駅前 献血ルーム周辺	献血事業 冬場は、輸血用血液が不足するため、献血街頭キャンペーンを実施する。 (結果) 200ml 4人・400ml 26人 成分献血 24人 合計54人	14人
2/16	ラポールひらかた 研修室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・炊き出し訓練の報告について ・奉仕団 60 周年記念大会の報告について ・管外研修会の報告について ・平成 24 年度事業計画・予算 (案) について ・東日本大震災及び台風 12 号和歌山・三重・奈良の義援金状況について 	14人

イ) 家庭看護部会

月日	場 所	事 業 内 容	出席数
5/10	枚方市駅周辺	平成 23 年度赤十字社員増強運動に伴う、社資募集の街頭募金及び啓発活動を行う。 (募金総額) 38,976円	27人

5/17	ラポールひらかた 研修室1	勉強会 ・部会員全員が参加し学習と連携を図る。 ・実習内容：「赤十字救急法・包帯法」について (府支部より、講師を招き実施)	25人
5/24 5/26 5/27	輝きプラザきらら	地域より依頼を受け、「留守家庭児童会指導員・児童育成研修会」のアシスタントに府支部より、講師を招き講習会を実施。 3日間の参加者 170人	29人
10/27	小倉小学校	地域より依頼を受け、大阪府支部より講師を招き講習会を実施。地域の参加者 30人	5人
10/30	殿二養父東町	地域より依頼を受け、大阪府支部より講師を招き講習会を実施。地域の参加者 120人	10人
11/6	春日小学校	地域より依頼を受け、部会で学んだ介護方法や応急手当など、簡単な項目について講習会を実施。 ・災害時の支援（車いす・応急手当） 地域の参加者450人	10人
12/2	ラポールひらかた 研修室	第1回ひらかた社協ふくしフェスティバル 「包帯法・災害時高齢者支援講習」の実技 「東日本大震災ビデオ放映」 入場者数 150人	18人
H24 3/6	福知山血液 管理センター	病气やけがなどで輸血が必要な患者のため、献血推進事業の一環として支援活動が実践できるように、学習と状況の機能を併せ持つ施設を視察。	29人

*参加協力事業

健康生活支援講習支援員養成講習や災害時高齢者生活支援講習会、日赤救急法（短期）講習会などの講師へのサポートを行った。

(14) 枚方・交野地区保護司会の運営支援

平成22年度から、枚方地区保護司会を「枚方・交野地区保護司会」に改称。一年を通じて理事会・定例会、また、地区毎に実施している定期研修(年4回)及び、更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会との合同研修会、その他各種研修・協議など保護司会の運営支援と保護司の更生保護の活動支援を行った。

また、7月を強化月間とする「第61回社会を明るくする運動」については、実施委員会の運営から準備・開催まで、全面的な運営支援を行った。保護司数は、108人（平成24年3月末現在）。

○保護司会活動状況

月 日	場 所	内 容
4/14	北大阪商工会議所 大ホール	理事会・定例会 「平成22年度事業報告・決算、社会を明るくする運動について」
4/21	ラポールひらかた 研修室1	理事・広報部会 「第61回社会を明るくする運動について」
5/11	ラポールひらかた 施設長室	平成22年度 事業報告・会計監査
5/19	ラポールひらかた 大研修室	枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会 「第61回社会を明るくする運動について」
5/21	ラポールひらかた 大研修室	理事会・決算総会 「平成22年度事業報告・決算報告」
6/9	交野市立保健福祉総 合センター	第一期定期研修 「関係書類の見かた、書き方」 理事会・定例会 「新任保護司紹介、委嘱状伝達、社明運動について」

8/18	ラポールひらかた 大研修室	保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会合同研修会、 「つながるということ ～更生保護から考える～」 講師：元大阪保護観察所 所長 廣田 玉枝氏 理事会・定例会 「物故者追悼式・管内研修等について」
9/15	交野市立保健福祉総 合センター	保護司会 物故者追悼式 理事会・定例会 「管内研修、定期研修等について」
10/20	交野市立保健福祉総 合センター	第二期研修 「発達障害を持つ対象者の処遇について」 理事会・定例会 「新任保護司紹介、再任保護司委嘱状伝達など」
11/16	大阪高等裁判所・ 池田市 不死王閣	管内研修 裁判所見学 定例会 「更生保護大会受賞者表彰伝達」
11/24	ラポールひらかた 研修室2	新任保護司研修
12/15	交野市立保健福祉総 合センター	第三期研修 「処遇プログラムについて」 理事会・定例会 「管内研修報告、互礼会等について」
1/7	ひらかた仙亭	枚方・交野地区保護司会新年互礼会
2/16	交野市立保健福祉総 合センター	第四期研修 「交野警察発足に伴う分割と、管内における犯罪の現状について」 講師：枚方警察署 生活安全課 田原 利雄氏 理事会・定例会 「新任保護司紹介・再任保護司委嘱状伝達など」
3/5	ラポールひらかた 特別会議室	理事会 「平成24年度事業計画・予算(案)について」
3/17	ラポールひらかた 大研修室	理事会・定例会 「平成24年度事業計画・予算(案)について」

○更生保護啓発活動

7/1	枚方市民会館 大ホール	第61回社会を明るくする運動 式典(参加者数：481人)／街頭キャンペーン(絆創膏配布)7,000個
7/21	交野市立保健福祉総 合センター	枚方・交野地区更生保護大会 講演会 テーマ「文福ふれあいほのぼの噺」 講師：落語家 桂 文福氏 (参加者数：373人)
8/20・21	枚方市役所周辺	ひらかたまつり出展(社明運動キャンペーン・絆創膏配布) 10,000個
7月～9月	第61回社会を明るくする運動作文コンテスト(小中学生対象)応募	46点

○候補者検討協議会の開催(12回) 4/7、4/8、4/11、4/19、8/8、8/17、8/24、8/29、8/30
10/28、11/21、11/29

○役員調整会議の開催(8回) 4/5、6/7、8/13、9/9、10/13、12/8、2/9、3/26

2. 住民会費等事業

地域福祉の推進を図り、「誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくり」を進めるために、校区福祉委員会を窓口、校区コミュニティ協議会、自治会をはじめとする、さまざまな機関・団体・事業所等の協力により、住民会員の募集を行った。集まった会費を財源として、校区福祉委員会の活動助成をはじめ、各種ボランティア活動等、地域福祉の推進のため有効に活用した。

(1) 組織会員状況

社会福祉協議会が地域福祉推進の中核として機能できる組織づくりを目的として、平成3年に導入した組織会員は、本会の基本的な構成員となり、事業運営に参画する団体・機関である。

(2) 社協会員募集状況

7月を会員募集強化月間として、会員を募集

会員種別	会員数	詳	細
住民会員	26,609人	32,482口	16,241,000円
特別住民会員	1人		20,000円
法人賛助会員	107法人	120口	1,200,000円
		福祉協力金	4,842,032円
		総計	22,303,032円

(会費の使い道)

校区福祉委員会活動助成（45校区）	10,242,468円
校区福祉委員会協議会運営費	286,420円
ひとり暮らし老人会育成助成	420,000円
福祉団体活動助成	100,000円
北河内ボランティアセンター助成	100,000円
ボランティアアドバイザー活動助成	1,437,000円
ボランティア保険助成	339,500円
枚方ふれあいフェスティバル開催助成	400,000円
ひらかた社協だより印刷配布費	5,804,565円
社協紹介リーフレット作成費	231,000円
枚方市ボランティアセンターホームページリニューアル費	215,880円
住民会員募集事務経費	1,086,653円
法人運営経費	760,000円
次年度繰越金	879,546円
合計	22,303,032円

3. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動に対する市民の関心は年々高まっており、活動分野は福祉をはじめ、保健医療・環境・教育・文化・スポーツ・防災など幅広く、活動内容も多様化している。このような状況の中で、市内におけるボランティア活動の円滑な推進に向け、様々な取り組みを行った。特に今年度は小中学校（4校）へ実際に出向き、子ども達にボランティア活動の大切さを伝えた。また、東日本大震災の被災地支援の経験をいかし、枚方での防災・減災の啓発を行った。

(1) 枚方市ボランティアセンター事業

①ボランティアセンター開所状況

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	20	19	22	20	23	20	20	20	20	18	21	21	244

②枚方市ボランティアセンター運営委員会開催状況

月日	場所	内容	出席数
9/6	ラポールひらかた	・平成22年度「ボランティア活動推進事業」事業報告	17人

	研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度「同事業」事業計画・年間予定・相談事例 東日本大震災、災害ボランティアセンター職員派遣報告 	
2/29	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度ボランティア活動推進事業の進捗状況 施設とボランティアの懇談会報告・相談事例報告 災害ボランティアセンター運営シミュレーション報告 	19人

③ボランティアグループ連絡会の活動状況

現在、市内66団体で構成し、各団体が情報交換・連携を図りながら活動を展開している。また、「大阪府市町村ボランティア連絡会」に参加し、府内的な活動にも参画している。

ア) 枚方市ボランティアグループ連絡会

- ・連絡会の開催 年間6回
- ・役員会の開催 年間6回
- ・枚方市敬老式典での高齢社会憲章朗読(9/9)
- ・平成23年度「赤い羽根」募金運動 街頭募金協力(10/3、10/4 計2回)
- ・社協ふくしフェスティバル開催・運営に協力(12/3)
- ・機関紙「ひろば」の発行(年1回/1000部)

イ) 大阪府市町村ボランティア連絡会(計4回)

- ・総会、代表者会議、河北ブロック交流会、研修会

④ボランティア関係機関との連携

ア) ボランティア・市民活動中間支援組織との連携

- ・北河内ボランティアセンター、ひらかたNPOセンターとの連携・協働を図り、ボランティアコーディネーションや事例検討などの情報交換を行った。
- ・3センター会議の開催 年間7回
- ・学校訪問等：各センターの資料、活動メニューなどを配布
- ・北河内ボランティアセンターと「施設職員支援セミナー」の共同開催
3/31 テーマ「災害時、あなたの施設は大丈夫？」神戸大学大学院 准教授 大西 一嘉 氏
- ・NPO法人 ひらかた市民活動支援センター理事就任

イ) ボランティアと施設との連携

- ・ボランティアと施設職員の懇談会(8/31、3/7)

ウ) 枚方市「ボランティア関係課会議」への参加 年間2回

⑤相談・コーディネート活動

ア) 来談者状況

来談形態	件数	性別	人数	相談内容	件数
来所	4,862	男性	2,273	ボランティア活動希望	166
電話	1,433	女性	4,022	ボランティア活動相談	316
計	6,295	計	6,295	ボランティア派遣依頼相談	201
				各種情報提供等	5,612
				計	6,295

イ) ボランティア活動相談

- ・ボランティア活動希望者へのボランティアグループ紹介
- ・企業、学校、地域へのボランティア紹介
- ・福祉施設及び各種市民活動等へのボランティア受入れ依頼 など

ウ) ボランティア登録状況(平成24年3月末現在)

- ・登録者数 812人(内 新規登録者 86人)

エ) ボランティア相談・コーディネート状況

相談者	件数	対応結果	件数
ボランティア活動者・団体	3, 396	調整(派遣・募集・終了)	6, 173
市民	1, 339	継続(調整中・相談継続)等	109
団体(福祉団体・市民活動・NPO等)	329	調整不可	12
地域(民生委員・福祉委員会・地域組織)	362	取り下げ	1
学校・教育関係	76		
福祉・医療関係	303		
公的機関・行事応援等	490		
計	6, 295	計	6, 295

⑥情報提供、啓発活動の状況

ア) 機関紙、冊子の発行

- ・情報紙『ぼらんていあアドバイザーニュース』発行(奇数月/年6回/各1,200部)
- ・ボランティアセンターのしおり及びグループ活動資料の作成・配布を随時実施。

イ) 情報媒体への提供・協力

- ・社協だより・広報ひらかた・FMひらかた・ボランティアOSAKA
- ・市社協及び府社協等関係機関のホームページ等

ウ) 各種機器、機材の貸与事業

- ・点字板 13件
- ・アイマスク 9件

エ) 社協ふくしフェスティバル開催支援(ボランティアコーナー等の企画・運営サポート)

⑦ボランティアセンターホームページの運営

ホームページを活用して、センターが保有する各種情報の提供を行った。特にボランティアグループの活動を継続するために活用できる各種助成金や表彰制度の紹介に重点を置いて取り組んだ。また、地震など災害時の支援情報に関する情報提供を行うとともに、災害ボランティアセンター設置訓練(1/20)において、緊急時情報網の開設・運用訓練を行った。

- 【内容】・パソコン用ホームページ運営 …… 年間アクセス数: 8, 435件
 ・携帯端末用専用コンテンツの運営 … 年間利用登録者数: 250件

(2) ボランティア・市民活動者研修・育成活動

①ボランティア体験プログラム…市内各施設の協力を得て、ボランティア体験の機会を設定した。

【実施期間】 7月1日～8月31日

【協力施設】 21施設 (障害者施設: 3/高齢者施設: 8/保育所: 10)

【参加人数】

参加対象	高校生以下	大学生	社会人	合計
人数(人)	11	6	3	20
延日数	20	9	4	33

②ボランティア・市民活動講座

- ・手作りおもちゃ講習会 (7/7、12/8 各日40人)
- ・親子手作り(工作)講習会 (7/21、7/28 各日10人)
- ・新規登録ボランティアスクール (9/7 16人)
- ・車いす講座 (10/12 25人)
- ・おもちゃドクター養成講座 (11/5、11/12 各日9人)
- ・企業ボランティアスクール (1/27 2社)
- ・ボランティア健康講座 (3/28 60人)

(3) ボランティア・アドバイザー育成・設置事業

ボランティア活動の経験を生かして、ボランティア活動に関する相談や情報提供を行う「ボランティア・アドバイザー」を設置するとともにスキルアップ研修等を実施し、相談機能の充実強化を図った。

【ボランティア・アドバイザー】 17人

1日延べ4人、2交替の体制で配置。(従事時間：午前9時30分～午後5時)

※ミーティングを毎月第4(火)、年間12回開催

①ボランティア・サロンの開催

「ボランティアセンターはボランティア活動者の交流地点」をテーマに、アドバイザーが企画・運営した。

4月	「なつかしのお手玉をつくりましょ!!」	(15人)
5月	「刺し子ふきんに挑戦!」	(14人)
6月	「身の回りの算数あれっ?これっ?なんで?」	(17人)
7月	「布でネックレスをつくりましょう」	(15人)
8月	「たまごでポプリをつくろう」	(13人)
	「からくり屏風をつくろう」	(13人)
9月	「健康ぞうりを作りましょう」	(10人)
10月	「ちょっとした話し方が相手の心を広げます」	(10人)
11月	「健康料理をつくりましょう」	(20人)
12月	「あなたもマジシャン!」	(10人)
1月	「地名から分かる枚方の歴史」	(20人)
2月	「身近な防災グッズ」	(12人)
3月	「脳を元気にする大人の算数」	(15人)

計 13回 /参加者： 184人

(4) 災害時の体制づくり

地域力を生かした災害に強いふくしのまちづくりを目指し、災害時支援ボランティアの養成、及び災害ボランティアセンターの設置訓練を実施した。また、「枚方市災害時要援護者避難支援事業」を受託し、要援護者の避難支援体制づくりを行った。

①災害ボランティアセンター設置シミュレーションの実施

平成18年度に作成した『災害ボランティアセンター設置・活動マニュアル』に基づき災害ボランティアセンターの設置訓練を実施し、訓練参加者からの評価・意見を集約し、実際の災害時におけるより実践的な体制整備についての検証・検討を行った。

月 日	場 所	内 容	出席数
1/20	ラポールひらかた 大研修室 研修室1	職員訓練 【テーマ】北河内地域の6市社会福祉協議会、中間支援組織2センターとの連携 1) 災害ボランティアセンター開設訓練 2) 災害ボランティアセンター運営訓練 3) 振り返り・研修 講師 大阪府社会福祉協議会 地域福祉部 大阪府ボランティア・市民活動センター 副部長 西原 弘将 氏	90人

②災害時支援者の養成

枚方市の出前講座「枚方市の防災を考える」

災害時要援護者避難支援事業について、登録ボランティアの役割等

③災害時要援護者支援ボランティアの募集

- ・募集期間 通年
- ・登録者数 180人
- ・啓発方法 広報ひらかた、社協だよりに掲載。募集ちらしを配布。

④災害時要援護者避難支援事業の実施

枚方市の委託を受け、災害が発生した時に、自力で指定避難場所まで避難することが困難な高齢者や障害者を対象に、安否の確認や避難の支援が円滑に行えるような体制づくりを行った。

〈要援護者登録状況〉合計 1,110人 (男性 293人 女性 817人)
 65歳以上の高齢者 1,001人
 障害者 109人

⑤訓練参加

- 10/15 関西医科大学付属枚方病院 大規模災害シミュレーション (於：関西医大枚方病院)
- 11/20 大阪府・南河内地域合同防災訓練における災害ボランティアセンター運営シミュレーション

⑥「被災地支援を考えるフォーラム」の開催

3月2日(金) 福島県富岡町おだがいさまセンターの職員を招いて、被災地報告
 参加者 80人

4. 小地域ネットワーク活動推進事業

高齢者、障害者(児)、子育て中の親子などが、地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小地域で行う体制を整備することを目的とした小地域ネットワーク活動を、校区福祉委員会を中心に展開した。また、その活動を支える担い手の養成や研修、相互交流等の機会を増やし積極的に開催した。

(1) 校区福祉委員会協議会

①役員会開催状況

月日	場所	内容	出席数
4/27	ラポールひらかた特別会議室1	・平成22年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・平成22年度校区福祉委員会協議会決算・監査報告について ・平成23年度住民会員募集について	8人
8/10	ラポールひらかた特別会議室1	・平成23年度住民会員募集の中間報告について ・ふくしのまちづくり円卓会議について ・地域福祉シンポジウムについて ・校区ふくしのまちづくり合同会議について ・いきいきサロン健康作りサポーター養成講座について	9人
12/15	ラポールひらかた特別会議室1	・平成23年度住民会員募集の状況について ・活動者研修会について ・府小地域ネットワーク活動リーダー研修会について	9人
3/1	ラポールひらかた特別会議室1	・平成23年度住民会員募集及び歳末たすけ合い募金の報告について ・平成24年度校区福祉委員会協議会事業計画(案)について ・平成24年度校区福祉委員会協議会予算(案)について ・全体会及び会長研修会について	10人

②全体会議開催状況

月日	場所	内容	出席数
5/20	ラポールひらかた大研修室	・平成23年度住民会員募集について ・平成22年度校区福祉委員会協議会事業報告について	44人

		<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度校区福祉委員会協議会決算・監査報告について 校区福祉委員会協議会役員の選任について 社協理事・評議員及び各種委員会委員の推薦について 	
3/27	ラポールひらかた大研修室	<ul style="list-style-type: none"> 街かどデイハウス事業について 平成23年度社協会員及び歳末たすけ合い募金の報告について 平成24年度ボランティア保険について 平成24年度校区福祉委員会協議会事業計画(案)について 平成24年度校区福祉委員会協議会予算(案)について 校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ひとり暮らし老人会運営活動助成金に関する書類の提出について 平成24年度校区献血日程について 冬期献血街頭キャンペーンの結果報告について 	45人

③各エリア会議開催状況

ア) 北エリア会議

月日	場所	内容	出席数
7/21	ラポールひらかた研修室1他	【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、活動テーマ別の交流会を開催	38人
10/14	フェリスモンテ大阪府看護協会桃谷センター	【管外研修】 特定非営利活動法人フェリスモンテ 見学・意見交換会 社団法人大阪府看護協会桃谷センター 見学	27人
3/26	ラポールひらかた研修室1他	【研修・意見交換会】 「枚方市地域包括支援センター概要、介護保険制度について」講師：枚方市地域包括支援センター職員 【会議】 ・平成24年度北エリア事業計画について	27人

イ) 中エリア会議

月日	場所	内容	出席数
6/17	ラポールひらかた研修室1	【研修】 「障害への理解と支援」 講師：枚方市障害福祉室 課長代理 三谷幸生氏 【会議】 ・平成23年度中エリア事業計画について ・中エリア管外研修について	26人
10/27	岬町淡輪地区「みんなのたまり場」	【管外研修】 岬町淡輪地区福祉委員会との活動交流会	32人
11/15	ラポールひらかた研修室1他	【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、活動テーマ別の交流会を開催	37人
3/15	ラポールひらかた研修室1	【会議】 ・平成24年度中エリア活動計画について ・「校区ふくしのまちづくり計画」の進捗状況報告 【講演】 「校区福祉委員会の個別援助活動について」 講師：枚方市社会福祉協議会ボランティアセンター 鈴木 鉄也	22人

ウ) 南エリア会議

月日	場所	内容	出席数
7/6	ラポールひらかた大研修室	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度南エリア事業計画について いきいきサロン健康づくりサロナー養成講座について 	35人

		・「いきいきサロン」、「ふれあい食事会」の各校区の取り組みについて	
10/28	ラポールひらかた 研修室1他	・これからの小地域ネットワーク活動について 【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、活動テーマ別の交流会を開催	46人
11/28	堺市総合福祉会館	【管外研修】 堺市北区光竜寺校区福祉委員会との活動交流会	39人
2/27	ラポールひらかた 研修室1	・平成24年度南エリア事業計画について ・ひとり暮らし老人会の現状と福祉委員会の支援について ・校区ふくしのまちづくり計画について	34人

エ) 東エリア会議

月日	場 所	内 容	出席数
7/26	津田生涯学習市民センター	【研修】 障害のある人たちの地域生活支援について 講師：社会福祉法人 やなぎの里ばびるす施設長 新川 親義 氏 質疑応答・意見交換	24人
12/20	津田生涯学習市民センター	【報告】 東日本大震災 被災地・宮城県南三陸町派遣報告～災害ボランティアセンターの活動から被災地生活支援センターの活動へ～ 【研修】 認知症高齢者グループホームの実践から 講師：グループホーム樹の実管理者 知念 ひとみ氏 質疑応答・意見交換	27人
3/21	東大阪市消防局防災学習センター	【視察研修】 ・東大阪市消防局防災学習センター 【会議】 ・平成24年度東エリア会議活動計画(案)について	27人

(2) 研修会開催状況

①校区福祉委員会活動者研修会

月日	場 所	内 容	出席数
12/5	メセナひらかた会館大会議室	〈テーマ〉 「地域での子育て支援について」 講師 日本福祉大学 教授 渡辺 顕一郎 氏	106人

②校区福祉委員会会長研修会

月日	場 所	内 容	出席数
3/27	ラポールひらかた大研修室	〈テーマ〉 「若者のひきこもりの現状と地域支援について」 講師 NPO法人 フェルマータ 北大阪若者サポートステーション 理事 小林 将元 氏	44人

③校区福祉委員会会計担当者研修会

月日	場 所	内 容	出席数
5/23	ラポールひらかた大研修室	・校区福祉委員会の活動と財政について ・校区福祉委員会会計の処理について	83人

(3) 小地域ネットワーク活動推進事業

①各校区の地域福祉活動の推進

市内全45校区福祉委員会が、各校区の地域特性に応じて住民主体で取り組む小地域ネットワーク活動の支援を行った。

- 1) 個別援助活動
 - ・地域で支援を必要とする人に対する見守り・声かけ訪問
 - ・外出することが困難な人へ食事を提供するとともに、安否確認などを行う配食活動
- 2) グループ援助活動
 - ・高齢者等を対象に、住民の憩いの場づくりとしてのいきいきサロン活動
 - ・子育て中の親子が集まり、親同士の情報交流等を行う子育てサロン活動
 - ・住民全般を対象とした世代間交流活動
- 3) 校区福祉委員会等活動
 - ・福祉講座やボランティアスクール等、地域住民に対する福祉啓発活動
 - ・担い手の養成等を目的とした各種研修会の開催

②第2次校区ふくしのまちづくり計画の策定、計画の推進

市内45校区福祉委員会は、地域福祉の推進を目的に、平成16年度から平成19年度までの4ヶ年にわたり、順次「校区ふくしのまちづくり計画」の策定を行った。5ヶ年の計画期間の最終年度を迎えた校区は、計画の推進状況の振り返りを行うとともに、住民アンケートや懇談会などを通じて、「第2次校区ふくしのまちづくり計画」の策定に取り組んだ。今年度は、10校区が最終年度を迎え、新たな計画づくりを行った。

※第2次計画策定校区：10校区 北エリア（小倉・西牧野・船橋）、中エリア（枚二・中宮・山田）
南エリア（香里・五常）、東エリア（長尾・田口山）

合同懇談会の開催

月 日	場 所	内 容	出席数
7/25	ラポールひらかた 大研修室	第2次計画を平成22年度に策定した校区(11校区)及び平成23年度に策定予定校区(全10校区)を対象に、講師より地域福祉の重要性、計画の必要性を講演。また、グループワークで各校区の計画の進捗状況をふり取り、情報共有・意見交換を行い、新たな計画の進行管理について話し合った。最後に講師によるまとめ、助言をもって終了した。 ・基調講演「地域福祉について」 講師：佛教大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 所 めぐみ 氏	61人

(小地域ネットワーク活動推進事業に関する会議、研修)

月 日	場 所	内 容	出席数
2/23	大阪国際交流センター	テーマ 「いざという時、力を発揮するのが地域のつながり ～防災力が問われる今だからこそ、小地域ネットワーク活動が大事～」 講 師 同志社大学 名誉教授 井岡 勉 氏 主 催：大阪府社会福祉協議会	41人

(4) その他の活動

- ・社協住民会員募集の協力（7月）
- ・献血街頭キャンペーンの参加
夏期（7/8、7/11、8/8、8/25）
冬期（12/1、12/12、1/16、1/26）
- ・歳末たすけあい募金運動の協力（12月）

5. 助成事業

福祉団体やひとり暮らし老人会などの当事者組織が、円滑な組織運営や活動を行えるように助成するとともに、連絡会の活動支援を行った。

(1) 枚方市福祉団体連絡会の活動援助

①福祉団体連絡会開催状況（全体会1回、定例連絡会7回 計8回）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/25	ラポールひらかた 特別会議室	・東日本大震災街頭募金 ・総会について	13人
5/18	ラポールひらかた 研修室1	[全体会] ・平成22年度事業報告・決算・監査報告 ・役員改選 ・平成23年度事業計画・予算(案) ・研修会	54人
7/25	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・健康福祉フェスティバル ・市要望書について など	12人
9/5	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・市要望書説明会について ・第2回管外研修会について ・障害者週間啓発イベントについて など	11人
11/14	ラポールひらかた 研修室4	・市要望書説明会について など	13人
11/22	ラポールひらかた 研修室3	・障害者週間啓発イベントについて など	12人
1/12	ラポールひらかた 特別会議室1	・障害者週間啓発イベント報告 ・民間バス借り上げ補助金申請について ・2月交流会について など	12人
3/12	ラポールひらかた 特別会議室1	・平成22年度決算見込みについて ・4月交流会について ・東北地方震災募金活動について など	15人

②企画委員会の開催

・年9回開催 委員5人（監事を除く連絡会役員）

・連絡会での提案・検討内容及び主催事業の企画・検討を行った。

【開催日】6/6（4人）、7/21（5人）、8/11（5人）、9/29（4人）、10/27（5人）、
12/19（5人）、1/16（5人）、2/27（5人）、3/29（5人）

③研修会の開催（年3回開催：管内研修会1回・管外研修会・2回）

月 日	場 所	内 容	出席数
5/18	ラポールひらかた 研修室1	《第1回 管内研修会》「障害者と家族の暮らしと人権」 講 師：大阪市人権啓発・相談センター 塩毛 誠司 氏	48人
7/1	宇治・久御山	《第1回 管外研修会》 丸久小山園・コココーラウエスト京都工場 見学	38人
10/14	堺市	《第2回 管外研修会》 場所：堺あけぼの福祉会見学 お香作り体験	31人

④交流会の開催（年2回開催）

各団体会員相互の交流を深めるために、交流会を開催し親睦を深めた。

月 日	場 所	内 容	出席数
4/15	京都市	トロッコ列車乗車・嵐山散策	37人
2/2	ラポールひらかた	料理教室	21人

日常生活訓練室	(肉まん・生春巻き・中華スープ・杏仁豆腐) 講師：聴覚障害児親と子の会 若槻 美可 氏	
---------	--	--

⑤東日本大震災 街頭募金 4/11 33人参加 82,361円

⑥健康・福祉フェスティバル開催に協力
模擬店参加 (2団体)

⑦社協ふくしフェスティバル開催に協力
模擬店参加 (2団体)

⑧障害者週間啓発キャンペーン 12/6 午前 枚方市駅ロータリー付近にて啓発用ティッシュ配布
午後 イベント… パントマイム・講演会・バンド演奏

(2) 枚方市地域共同作業所連絡会の活動援助

市内の地域共同作業所・施設・事業所及び関係機関・団体との連携を図り、情報交換や活動交流、相互研修などを通じて、作業所等地域の活動拠点の円滑な運営と障害のある人の社会参加の促進などを図ることを目的として、各種の事業を実施した。障害者自立支援法等の改正により、事業所への移行が進められ、地域共同作業所連絡会としての役割を終えことから、平成23年度をもって解散した。

①役員会の開催

4/19、6/28、7/26、8/23、9/27、10/18、11/22、12/20、1/24、3/27 計10回

②代表者会議の開催

月 日	場 所	内 容	出席数
5/17	ラポールひらかた 研修室2	・平成22年度 事業報告について ・平成22年度 決算・監査報告について ・枚作連の今後について ・役員体制について ・平成23年度 事業計画(案)について ・平成23年度 予算(案)について	8人

③研修会の開催(年3回)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/25	ラポールひらかた 研修室3	テーマ『障害者年金について』 講師 社会保険労務士 西川 好和 氏	17人
12/13	ラポールひらかた 集会室	テーマ『成年後見制度について』 講師 NPO法人権利擁護たかつき 事務局長 高岡 克行 氏	12人
2/14	ラポールひらかた 集会室	テーマ『障害者の年金について』 講師 弁護士 板垣 善雄 氏	8人

④交流会の開催

月 日	場 所・内 容	出席数
1/18	関西国際空港 空港施設内見学 及び 昼食	74人

⑤バザーの実施・参加

・10月23日 第23回 枚方市健康福祉フェスティバル 8団体

- ・11月24日 作業所連主催バザー 8団体
- ・12月 3日 枚方市社会福祉協議会60周年記念大会 6団体

⑥作業所作品等の販売活動

- ・和菓子処「大黒屋本店」での販売活動
 - 出店 4団体
 - 売り上げ 57,580円(平成23年4月～平成24年3月)

(3) 枚方市ひとり暮らし老人会連絡会の活動援助

校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会の援助のもとに結成された、ひとり暮らし老人会の連絡調整を図り、校区福祉委員会及び、関係機関・団体との連携を密にし、組織の充実・強化と、ひとり暮らし老人の福祉向上を目的として、次の活動を推進した。

【ひとり暮らし老人会設置状況】 (平成23年4月1日現在)

校区福祉委員会数	設置数	会員総数
45校区	42会	1,431人

①連絡会の開催状況

ア) 役員会

月日	場 所	内 容	出席数
5/10	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度事業報告・決算報告について ・平成23年度予算について ・ひとり暮らし老人会活動助成について ・役員改選について 	7人
8/26	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員協議会、高齢者福祉部会との懇談について ・会長・役員研修会(管内研修)について ・会長・役員視察研修会(管外研修)について 	7人
12/13	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・火災報知器アンケート結果について ・来年度の活動について 	7人
2/24	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・各会の現状について ・平成24年度事業計画について ・連絡会活動事業補助金による各事業の実施(支出)状況について 	7人

イ) 全体会

月日	場 所	内 容	出席数
5/30	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度事業・決算報告について ・平成23年度事業計画(案)・予算(案)について ・役員改選について ・ひとり暮らし老人会連絡会活動助成について ・会長・役員研修会(管内・管外研修)について 	38人
9/8	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・役員研修会(管内研修)の報告について ・会長・役員視察研修会(管外研修)について ・ひとり暮らし老人会交流・研修会実施要綱について ・対市要望について ・民生委員児童委員協議会・高齢者福祉部会との懇談会について 	41人

2/29	ラポールひらかた 研修室1	・会長・役員視察研修会（管外研修）の報告について ・交流・研修会の実施状況について ・連絡会活動事業補助金による各事業の実施（支出）状況について	41人
------	------------------	--	-----

②研修会の開催状況

ア) 全体研修会

月日	場 所	内 容	出席数
8/26	ラポールひらかた 大研修室	【会長役員研修会】 「エンディングノートについて」 講 師 NPO法人遺族支え愛ネット 出口 久美 氏	98人
11/11	稲むらの火の館 湯浅醤油	【視察研修会】 津波について様々な体験を通して学習する 伝統的な醤油の製法について学ぶ	38人

イ) ブロック別交流・研修会

月日	場 所	内 容	出席数
10/19	楽寿荘	Aブロック（9会） ・講演「健康増進・転倒防止について」 ・マジック、落語、腹話術、南京玉すだれ、合唱	79人
10/28	ラポールひらかた 大研修室	Bブロック（8会） ・講演「認知症とその予防について」 ・頭の体操、力だめし等 ・柔軟体操（身体のほぐし）	55人
9/23	ラポールひらかた 大研修室	Cブロック（5会） ・フルート演奏 ・交通安全講習 ・カラオケ	96人
3/12	香里団地D地区 集会所	Dブロック（6会） ・地域包括支援センターアイリスの話 ・健康体操	30人
9/30	村野団地集会所	Eブロック（5会） ・講演「高齢者の健全、安全な食生活について」 ・フォークダンス、サクソホン演奏	30人
11/24	メイトホール	Fブロック（5会） ・地域包括支援センターあおぞらの話 ・交通安全（事故防止）の話 ・マジック、ハンドベル、ハーモニカの合奏等	53人
10/29	津田生涯学習 センター	Gブロック（4会） ・民謡と三味線演奏 ・カラオケ	72人

③関係機関・団体等との連携事業の状況

月日	場 所	内 容	出席数
10/5	ラポールひらかた 大研修室	民生委員児童委員協議会・高齢者福祉部会との懇談会 (会員対象) ・高齢者福祉部会員とひとり暮らし老人会参加者との懇談会	136人 (内会員) 108人

④小学唱歌を歌う会「赤いベレー」

- *月例開催状況 ・年間11回 1,083人（延べ人数）
主にメセナひらかた大会議室及びラポールひらかた大研修室にて活動
- *主催行事 ・友愛訪問：特別養護老人ホーム 里仁館（1月20日・42人）

6. 献血推進事業

厚生労働省は、血漿分画製剤を含むすべての血液製剤の国内自給をめざして、献血人口の拡大と400ml献血・成分献血の献血者を安定的に確保する必要性を関係機関等に強く訴えている。平成23年度は、400ml献血・成分献血の推進を図るとともに、枚方市駅献血ルームの広報活動、献血の採血基準改正の通知を積極的に行った。また、献血推進協議会を中心に、関係機関・団体等との連携を図りながら効果的な啓発活動を行い、昨年度と比べて400ml採血の割合が増加するなど、実績を上げることが出来た。

(1) 事業内容

①献血推進協議会開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
6/23	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の選出について ・平成22年度枚方市献血推進協議会事業報告及び平成23年度事業計画について ・平成22年度大阪府献血推進事業及び平成23年度献血推進計画について ・平成22年度大阪府献血実績及び供給状況について ・枚方市駅献血ルームの献血実績について ・枚方市夏期献血街頭キャンペーンについて 	21人
10/25	ラポールひらかた 研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市夏期献血街頭キャンペーン結果について ・最近の血液事業について ・平成23年度上半期 献血状況について ・平成23年度上半期 枚方献血ルームの月別推移について ・枚方市冬期献血街頭キャンペーンの計画について ・情報提供 ～献血状況について～ 	14人

②街頭キャンペーン実施状況

京阪枚方市駅前及び京阪樟葉駅前、京阪枚方市駅献血ルーム周辺で、枚方市献血推進協議会委員ならびに献血推進員（校区福祉委員会会長）が啓発用ティッシュペーパーを配布しながら献血協力を呼びかけるなどの啓発を行った。また、キャンペーン実施場所周辺を広報車で回り、献血協力を呼びかけた。

(単位：人)

	実 施 日	場 所	参加者数	受付者数	採血者数
夏 期	7月 8日	京阪樟葉駅前	16	40	25
	7月11日	枚方市駅前（ルーム前）	14	44	24
	8月 8日	樟葉駅前	13	37	26
	8月25日	枚方市駅前（ルーム前）	16	52	44
小 計			59	173	119
冬 期	12月 1日	枚方市駅前（ルーム前）	11	52	45
	12月12日	樟葉駅前	13	35	32
	1月16日	樟葉駅前	16	38	33
	1月26日	枚方市駅前（ルーム前）	16	59	53
小 計			56	184	163
合 計			115	357	282

【実施時間】 午前10時30分～11時30分 午後1時～2時

③校区福祉委員会との連携

校区福祉委員会と連携し、28校区において献血を実施した。実施にあたり、広報活動など積極的に援助・協力するとともに、献血に関する必要な情報提供を行った。なお、広報活動として、PR用チラシの配布（全戸配布用・回覧用）とポスターの掲示を行うとともに、枚方市駅献血ルームの啓発チラシを配布し献血推進の啓発に努めた。

④関係機関・団体等との連携

関係機関・団体等との連絡調整を図り、組織的・効果的な献血推進活動を展開した。

(2) 枚方市献血実績

(単位：人)

実施区分(域)	①受付者数	②採血者数 ②/①	採血者内訳			主催団体 実施場所等
			200ml	400ml	成分	
街頭	3,978	3,021 75.9%	47 1.6%	2,974 98.4%	0 0.0%	京阪枚方市駅前 樟葉駅前
学域	1,065	745 70.0%	95 12.8%	650 87.2%	0 0.0%	高校・短期大学 大学等
職域	1,777	1,494 84.1%	119 8.0%	1,375 92.0%	0 0.0%	事業所・病院 市役所等
校区	1,471	1,099 74.7%	156 14.2%	943 85.8%	0 0.0%	校区福祉委員会等
地域	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
採血者計(小計)	8,291	6,359 76.7%	417 6.6%	5,942 93.4%	0 0.0%	街頭～地域 の合計
献血ルーム	16,049	13,970 87.0%	481 3.4%	5,494 39.3%	7,995 57.2%	枚方市駅献血ルーム
総合計	24,340	20,329 83.5%	898 4.4%	11,436 56.3%	7,995 39.3%	採血車・献血ルームの 合計

(採血者数下の%は、受付者数に対する割合。採血者内訳下の%は、採血者数に対する構成比。)

7. 福祉サービス利用援助事業

本サービスに係る相談・利用希望は年々増加しており、平成23年度は、生活支援員(サポーター)を1人増員し契約数を増やすと共に、利用者の成年後見制度への移管、待機者の現状把握による整理を行い待機者解消に努めた。

(1) 事業概要

①目的

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人に対し、自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助を行ったり、日常的金銭管理などを行うことにより、権利擁護に資することを目的とする。

②実施事業

- 1) 福祉サービスの利用援助(情報提供、相談、代行・代理等)
- 2) 日常的な金銭管理(日常管理通帳・印鑑の管理、公共料金等の支払い代行等)

- 3) 書類等の預かり (印鑑、各種証書等を貸金庫に保管)
- 4) 監査委員会の運営
- 5) 関係機関との連携

③職員体制：専門員 2人、生活支援員 (サポーター) 5人

(2) 実績

①サービス提供状況

(ア) 契約件数 62件

	福祉サービス 金銭管理	福祉サービス 金銭管理・預かり	計	内訳		
				継続	新規	解約
認知症高齢者	30	1	31	28	7	4
知的障害者	5	11	16	15	1	0
精神障害者	14	1	15	9	9	3
計	49	13	62	52	17	7

※解約理由：施設入所、成年後見人への移管、死亡

(イ) 準備中 3件 内訳：認知症高齢 1件・知的障害 1件・精神障害 1件

②専門員稼働状況

問い合わせ 53件
 初回相談 28件
 相談援助 25件 (利用者からの電話相談等)
 訪問 66件 (相談援助、ガイドライン調査等)
 関係機関との連携 56件 (ケース会議、ケース状況照会等)

③生活支援員 (サポーター) 稼働状況

訪問 1,195件 内訳：金銭授受 932件
 身上配慮 263件
 手続代行等 2,278件
 相談援助 1,376件

(3) 監査委員会

7月21日 案件

- ・平成22年度事業報告
- ・平成23年度事業計画
- ・平成23年2月～5月期の事業実施状況

11月21日 案件

- ・平成23年6月～9月期の事業実施状況
- ・本事業におけるコンプライアンスの必要性
- ・市民後見推進事業について

3月19日 案件

- ・平成23年10月～平成24年1月期の事業実施状況
- ・平成24年度事業計画 (案)
- ・日常生活自立支援事業マニュアル改正
- ・生活保護受給者の社会的な居場所づくり事業

(4) その他 (大阪後見支援センター主催の会議及び研修)

①新任者研修

6月8日 専門員 1人 支援員 1人

②担当者会議

10月3日・12月7日・3月7日 専門員 1人

③生活支援員会議

3月7日 支援員 2人

8. 精神保健福祉推進事業

(1) 精神保健福祉推進事業

昭和46年に枚方市が制定した「精神衛生都市宣言」の趣旨を踏まえ設立された枚方市精神保健福祉推進協議会の運営を通じて、関係機関・団体と連携を図り、精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発とともに市民の誰もがこころの健康を維持できるように「こころの健康づくり」を目的とした事業を実施した。また、こころに病のある人とその家族などによる当事者活動への支援及び精神保健福祉ボランティア活動の支援などを行った。

①枚方市精神保健福祉推進協議会の開催状況

精神保健福祉の制度・施策に関する最新情報、枚方市における当事者活動の状況、心の健康に関する課題などについて関係機関・団体と共有することにより、効果的な事業推進を行うことができた。

月 日	場 所	内 容	出席数
9/15	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の紹介について ・平成23年度 上半期事業経過報告について ・平成23年度 下半期活動予定について ・情報提供 「精神保健福祉の更なる改革に向けて 概要」事務局 「保護者制度の改革に向けての近況」 わかちあう会会長 児島 進子 氏 ・各団体からの報告について 	18人
3/23	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度 事業実施状況について ・平成24年度 事業計画(案)について ・情報提供 ①「精神障がい者の地域生活の実現に向けて」事務局 ②「枚方市自立支援協議会について」 陽だまりの会 河野 和永 氏 	21人

②企画検討部会の開催状況

心の健康づくりや心の病についての正しい知識の普及を図るための企画検討を実施した。本年は、心の病の低年齢化をテーマとし、教育委員会・学校と連携を図り、教職員を対象とした研修等により思春期児童の心の病などについての情報提供を行うなど、普及啓発を行った。

月 日	場 所	内 容	出席数
4/27	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の紹介について ・平成22年度 事業報告について ・平成23年度 事業計画について ・取り組みの方向性について 	8人
6/5	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会との連携について 	8人

7/13	ラポールひらかた 研修室2	・市内中学校からの職員研修協力依頼について	7人
10/7	ラポールひらかた 特別会議室	・市内中学校の職員研修への参加協力の感想及び反省 ・今後の取り組みについて	6人
3/28	ラポールひらかた 集会室	・次期委員に引き継ぐことの整理	8人

③ふれあい交流事業の実施状況

1) しあわせHOTフェスティバル

地域で暮らす心の病を持つ人が、安心して過ごせる地域づくりの輪を広げていくことを目的に、当事者を中心とした実行委員会により市民との交流イベントの企画・運営を行った。多くの市民が参加し、心の病を持つ人が地域で暮らすことについて理解を広げることができた。

- ・テーマ：「地域で幸せに暮らす！ ～それぞれの幸せのかたち！！～」
- ・主催：ふれあい交流事業実行委員会
- ・後援：枚方市・枚方市教育委員会・枚方市地域共同作業所連絡会・枚方市社会福祉協議会
- ・実行委員会開催（計11回）

4/22・6/4・6/24・7/29・8/26・9/29・10/28・11/11・12/16・1/27・3/17

月日	場所	内容	出席数
2/19	ラポールひらかた 大研修室他	紙芝居 及び ライブコンサート 大研修室にて ・紙芝居・・・紙芝居師 鈴木 常勝 氏 ・バンド・・・「illy@奏」 円形広場にて「バザー」及び「大道芸」 研修室にて医療機関・保健所・家族会の「相談コーナー」	135人

④ゼミナール・講演会等の開催状況

当事者や専門家により精神保健福祉の重要性及び心の健康づくり、心の病等についての正しい理解を深め、差別や偏見のない住みよい社会を築くことを目的に研修会等を開催した。

1) こころの保健ゼミナール

月日	場所	内容	参加者数
8/20	ラポールひらかた 大研修室	テーマ「ひきこもりの若者支援を通して思うこと」 講師：NPO法人 フェルマータ 北大阪若者サポートステーション 理事 小林 将元 氏	70人

2) こころの健康講座（当事者団体と共同開催）

月日	場所	内容	参加者数
10/1	ラポールひらかた 研修室1	テーマ 「～自死に向き合う関西僧侶の会～のお坊さんを囲んで」 講師：自死に向き合う関西僧侶の会 代表 大阪自殺防止センター事務局長 関本 和弘 氏 ※自死遺族会「ふきのとうの会」との共同開催	35人
10/30	ラポールひらかた 研修室1	テーマ「誤解されているアルコール依存症」 講師：安東医院院長 安東 龍雄 氏 安東医院精神保健福祉士 畚野 真木 氏 ※「枚方断酒会」との共同開催	47人

3) 市民活動啓発講座

月 日	場 所	内 容	参加者数
10/15	ラポールひらかた 研修室1	テーマ「知っていますか?『心の病』の現状を!」 講 師:大阪府枚方保健所 精神保健福祉相談員 大西 豊 氏 体験発表:わかちあう会・ひらりの会・あかり各会員 ※ボランティアグループ「あかり」と共同開催	57人

⑤セルフヘルプグループの活動支援

精神障害者クラブ「ひらりの会」、心に病を持つ者の家族の会「わかちあう会」、自死遺族わかちあいのつどい「ふきのとうの会」、「枚方断酒会」の活動の支援を行った。

⑥こころの電話相談の支援（平成7年11月発足）

実施日時:毎日(1月1日・2日を除く)午前10時～午後4時

相談員:研修を経た相談員 約85人 交代制

実施日数:364日

相談件数:4,455件(内訳:男性1,960人・女性2,495人)

⑦広報・啓発等の状況

啓発資材の配布(社会福祉協議会等の主催事業時に適宜配布)

- ・枚方市精神保健福祉推進協議会の啓発用パンフレットを適宜配布
- ・機関紙「はっとTime」の発行、各関係機関へ配布

(2) 自殺予防対策事業

自殺予防に係る専用相談電話の設置や自殺予防の役割を担う人材の養成、市民への情報提供と啓発を推進することにより、自殺を思い悩む人への支援体制の充実を図った。

①電話相談支援事業(ひらかた いのちのホットライン)

自殺予防に係る専門の研修を終了した者が、専用の電話相談「ひらかた いのちのホットライン」において、不安や悩みを抱え自殺を思い悩む相談者の思いを傾聴し、受け止めることにより、その苦悩を軽減することを目的に電話相談を行った。

- ・実施日時 毎週火曜日 午前10時～午後4時
- ・相談員 枚方市が実施する相談員育成のための研修を修了した者
- ・実施日数 52日 ・相談件数 54件

②人材養成事業

電話相談支援事業に従事する相談員の養成及び、自殺を考えている人のサインに気づき、専門相談機関につなげる役割を担うゲートキーパーを養成するための研修を実施した。

1) 電話相談員養成事業

電話相談支援事業の相談従事者を育成するための「電話相談員養成講座」と相談員のスキルアップのための「フォローアップ研修」を行った。

・第7期 電話相談員養成講座日程

6/18・6/25・7/2・7/9・7/16・7/23・7/30・8/6・8/20・8/27・9/3・9/10

9/17・9/18～12/3(この間に各人2回の実習)・12/10

修了者 40人

・フォローアップ研修

電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的に今回は主に聴き方を中心に研修を行った。

- グループ別研修（2グループ） 参加者計41人 （8月・1月を除く計20回）
- ・指導者養成講座（4回） 参加者 6人

2) ゲートキーパー養成研修

自殺についての正しい知識の普及を図るとともに、自殺のサインに気づき、見守り必要に応じて適切な専門相談機関へつなぐ役割を担う人材を養成することを目的に養成研修を開催した。

【1回目】

- ・開催日時 8月2日 午後1時30分～4時45分
- ・講師 大阪府立精神医療センター 精神科医 野田 哲朗 氏
大阪自殺防止センター理事 澤井 登志 氏
- ・受講対象者 枚方市役所庁内の窓口や対人支援を行う部門の職員 及び
市内包括支援センター職員、CSW
- ・参加人数 51人

【2回目】

- ・開催日時 1月10日 午前10時30分～12時30分/午後2時30分～4時30分
1月11日 午前10時30分～12時30分/午後2時30分～4時30分
- ・講師 大阪府立精神医療センター 精神科医 野田 哲朗 氏
大阪自殺防止センター理事 澤井 登志 氏
- ・受講対象者 市内の民生委員・児童委員
- ・参加人数 449人

【3回目】

- ・開催日時 2月14日 午前1時30分～午後4時30分
- ・講師 大阪府立精神医療センター 精神科医 野田 哲朗 氏
大阪自殺防止センター理事 澤井 登志 氏
- ・受講対象者 地域包括支援センター職員及びケアマネジャー
- ・参加人数 76人

3) 普及啓発

啓発キャンペーンの実施や自殺予防をテーマとして講演会の開催、各種相談窓口のリーフレットの配布など、広く市民への情報提供と啓発を行った。

・啓発イベントの実施

自殺予防対策週間や自殺対策強化月間において、街頭啓発キャンペーンを実施した。

- 1回目 (日 時) 9月10日 午前11時～12時
(内 容) 啓発用ティッシュ配布 (場 所) 京阪電車 枚方市駅・楠葉駅
- 2回目 (日 時) 3月27日 午前7時30分～8時30分
(内 容) 啓発用ティッシュ配布 (場 所) 京阪電車 枚方市駅・牧野駅・光善寺駅

・講演会の開催

月 日	場 所	内 容	参加者
3/19	ラポールひらかた 大研修室	市岡裕子講演会 & ミニゴスペルコンサート テーマ「苦しいときこそ希望をもって ～ゴスペルソングに救われて～」	145人

・リーフレット配布等の情報提供

各種相談窓口を記載したリーフレットを関係機関・団体や市民に配布し、市民への情報提供を行った。

9. 生活福祉資金貸付事業

厳しい社会経済情勢が続き、雇用状況もなかなか好転しない中、増加する低所得者に対するセーフティネット施策のひとつとして生活福祉資金貸付事業を実施した。平成21年度10月に始まった総合支援資金は、事業開始当初と比較して相談件数、決定件数ともに減少傾向にある。同様に住居を喪失した方を対象に公的給付制度等の申請から決定までの間の必要な費用を貸し付ける臨時特例つなぎ資金も相談件数、決定件数ともに減少している。教育支援資金については、例年通り入学時の相談件数の増加が目立ち、卒業クライシスに対する弾力運用も継続された。

平成23年度は、東日本大震災の避難者に対する、緊急小口資金（災害特例）と生活復興支援資金、さらに大阪府受入避難者支援見舞金の交付を行った。

(1) 生活福祉資金貸付

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
面接件数	32	44	29	24	31	26	35	66	42	51	85	58	523
貸付件数	15	7	1	3	3	3	2	13	11	3	8	20	89

区 分	貸付件数	貸付決定金額
福祉費	7	5,335,000円
緊急小口資金	12	1,130,000円
〃（震災特例）平成23年度のみ	3	500,000円
生活復興支援資金	0	0円
教育支援資金	63	31,205,000円
不動産担保型生活支援（一般世帯）	1	8,820,000円
〃（要保護世帯）	3	12,573,000円
合 計	89	59,563,000円

(2) 総合支援資金貸付

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
面接件数	50	55	30	37	27	25	31	27	24	23	34	19	382
貸付件数	20	12	8	8	6	6	5	8	7	3	6	5	94

区 分	貸付件数	貸付決定金額
生活支援費	86	37,532,000円
住宅入居費	2	299,605円
一時生活再建費	6	685,000円
合 計	94	38,516,605円

(3) 臨時特例つなぎ資金

面接件数	申請件数	貸付件数	不承認件数	貸付決定金額（総額）
34件	4件	3件	1件	250,000円

(4) 大阪府受入避難者支援見舞金（平成23年8月末日で受付終了）

問い合わせ件数	申請件数	見舞金総額
79件	56件	4,400,000円

※問い合わせ内訳（来所：65件 電話：14件）

10. 住宅改造助成調査事業

重度身体障害者及び重度知的障害者(児)の人たちが、日常生活動作の改善や介護者の負担軽減を図るため、身体状況や家屋の構造などに合わせた住宅改造を行う場合、改造費用の一部を公的制度で助成。

前年度は利用希望者が多数であったため、今年度の利用者募集は前期(4月)・後期(9月)に抽選会を行って決定することにしたが、前期・後期とも募集定員に満たなかったため12月に追加募集を行った。

また、本事業の推進のため、作業療法士や理学療法士等の協力を得て「リフォームチーム」を編成し、介護支援専門員との連携のもと、住宅改造方法の提示や相談・助言を行った。

(1) 重度障害者等住宅改造助成事業リフォームチーム開催状況

月日	場所	内容	出席数
12/20	ラポールひらかた 特別会議室	・利用者の現況報告 ・平成24年度の利用者募集について	4人
1/19	ラポールひらかた 日常生活訓練室	・追加募集について ・平成24年度 募集要項の確認 ・協力店名簿募集方法について	6人

(2) 改造助成の相談状況及び改造箇所について

(単位:件)

区分	相談世帯	助成対象世帯	他制度を紹介
65歳以上	53	10	43
65歳未満	26	18	8
不明	20	0	20
計	99	28	71

- ・不明は匿名相談のため、年齢の区分なし。他制度を紹介は住宅改修費及び用具給付等、公的な融資制度などを指す。また、助成金対象世帯であっても着工済み・予算枠の空きがない等の理由も含む。

(訪問稼働数 103回)

(単位:件)

区分	便所	浴室	玄関・アプローチ	階段	廊下	台所	居室	洗面・脱衣所	その他	計
65歳以上	7	10	4	3	4	5	4	3	1	41
65歳未満	5	6	4	0	3	1	2	2	0	23
計	12	16	8	3	7	6	6	5	1	64

【改造内容】(合計:65歳以上ケース/65歳未満ケース 単位:箇所) ※改造箇所・内容については重複集計。
手すりの取り付け(30件:16/14)、段差解消(31件:23/8)、床材変更・床上げ(28件:18/10)、便器の洋式化・改善等(5件:3/2)、扉の変更・改善等(22件:14/8)、シャワーの設置・蛇口改善(10件:2/8)、浴槽改善等(13件:8/5)、段差解消機・昇降機設置(2件:2/0)

11. 住宅手当緊急特別措置事業

平成21年度10月からスタートした国の緊急雇用対策事業の一環として始まった事業。離職者であって就労能力及び就労意欲のある方のうち、住宅を喪失している方、又は喪失するおそれのある方を対象として住宅費を支援するとともに、住宅確保・就労支援員による就労支援等を実施し、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行った。事業開始当初と比較して、相談件数、決定件数ともに減少傾向にある。

(1) 住宅手当緊急特別措置事業 相談一覧表

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	来所	33	55	23	24	26	19	31	27	26	18	25	13	320
	電話	10	13	18	14	9	4	9	9	7	6	3	5	107
決定件数		6	4	6	5	1	4	0	2	9	5	2	5	49
就労相談		135	121	109	107	101	84	58	60	72	73	84	88	1092
中止件数		0	1	5	2	0	1	4	0	2	1	2	1	19

※支給中止原因は、就職によるもの、生活保護の受給、または誓約事項違反による

12. 共同募金配分金事業

(1) 赤い羽根共同募金（平成23年10月1日～平成24年3月31日）

自治会を窓口とした戸別募金、市内施設・病院等での募金箱の設置、法人募金・職域募金、学校募金等のほか、ボランティアグループ連絡会や大阪国際大学「ひと・まち・であう」プロジェクトの皆さんの協力を得て、京阪枚方市駅・樟葉駅周辺で街頭募金を実施した。募金総額は前年度より316,136円上回った。

募金総額 10,420,781円

また、大阪府共同募金会より1,504,662円の配分があり、本会から枚方市内のボランティアグループに対し助成を行った。

(2) 地域歳末たすけあい募金の実施（平成23年12月1日～平成24年3月31日）（単位：円）

募金の部		配分の部			
地区募金	11,948,978	福祉活動 助成事業	小規模作業所(連絡会助成含む)	4件	314,954
			私立保育所	32件	640,000
団体募金	511,484		地域デイケア	2件	349,400
			ひとり暮らし老人会運営助成	43件	2,520,778
			福祉団体活動助成	16件	506,000
			地域福祉活動支援助成事業	45件	5,383,664
			東日本大震災 災害見舞金	21件	640,000
			その他助成(ボランティア活動助成の一部)	67件	485,338
			付帯経費		500,920
収入計	12,460,462		支出計		11,341,054

※今年度収支差額 1,119,408円は、次年度配分に繰り越す

13. 居宅介護等事業

自立支援法に基づく居宅介護事業と介護保険法による訪問介護事業、枚方市単費の難病患者等ホームヘルプ事業（以下「ホームヘルプ事業」という）及び居宅介護支援事業を行った。障害者中心にホームヘルプ事業を展開しているが、介護保険法によるホームヘルプ事業の占める割合は全体の約11.4%（昨年11.2%）で昨年よりも少し増となっている。

ホームヘルプ事業、居宅介護支援事業共に利用者の意思及び人格を尊重し、必要なサービスを提供した。サービスの一層の充実を図るため、月1回のサービス提供責任者会議、月2回のヘルパー会議、月1回のヘルパー業務の見直しや環境の整備等を検討する業務改善委員会等により、職員のスキル向上に努めた。

また、障害者自立支援法の運営基準に則って、ヘルパー現任研修会を年2回実施し、制度施策やヘルパーのあり方等について研修会を開催した。

児童8歳から高齢者85歳までの利用者にサービス提供を行っている本会において、様々な関係機関等と連携が不可欠で、それらを密にし、必要に応じてサービス調整会議等を行って、利用者の福祉の向上に努めた。

行政と事業者が連携し障害者自立支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、会の中心的な役割を担った。

また、本会の役割のひとつとして事業所の持つ介護技術や障害者への支援についてのノウハウを広く市民に提供するため、摂南大学や本会の会館事業の介護講習会に講師として職員を派遣した。

ホームヘルプ事業において、昨年度に引き続き介護職員等の処遇改善に係る助成により、契約職員の処遇改善を図ることが出来た。また、ガイドヘルパーをホームヘルパーに登用する等、人材の活用を行った。業務体系の根本的な課題も多いことや退職するヘルパーもおり、特に男性ヘルパーの確保が困難な状況は変わっておらず、今年度についても人材の確保及び育成が最大の課題であった。

(1) 事業の状況

①利用者（契約）状況

ホームヘルプ事業の新規契約者は14人（身体4人・知的4人・精神3人・介護保険2人・難病1人）契約解除者は8人（身体4人・精神3人・介護保険1人）。3月現在の契約者は、身体障害者が最も多く、知的、精神、介護保険、児童の順で、全体で119人となっている。居宅介護支援事業は、新規契約者5人、契約解除者2人、3月現在で、21人、介護予防は、新規契約者1人、解約者1人、3月現在7人となっている。ホームヘルプ事業の解約者の内訳は、死亡2人、介護保険への移行者1人、入所施設に移行1人、他市に転居3人、他事業者へ移行1人である。居宅介護支援事業においては死亡2人。介護予防においては居宅介護支援への移行1人となっている。

【利用（契約）者状況】

（単位：人）（ ）は介護予防ケース数

月	自立支援法介護給付事業				市単費	介護保険	ホームヘルプ事業 合計	介護保険
	居宅介護事業				難病	訪問介護		居宅介護支援事業 (介護予防)
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者				
4	42	29	9	22		15	117	19 (7)
5	43	29	9	23		15	119	20 (8)
6	41	30	9	22		15	117	21 (7)
7	40	30	9	22		15	116	21 (7)
8	39	30	9	22		15	115	21 (7)
9	40	31	8	22		15	116	21 (7)
10	40	31	8	22	1	15	117	21 (7)
11	41	31	8	23	1	15	119	21 (7)
12	41	32	8	23	1	15	120	21 (7)
1	41	33	8	23	1	15	121	21 (7)
2	40	33	8	23	1	15	120	22 (7)
3	40	33	8	22	1	15	119	21 (7)

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

②利用時間

ホームヘルプ事業の利用時間については、月平均2703時間で、昨年度より月平均140時間増となっており、そのほとんどが障害者自立支援法によるものである。増の内訳は、1ヶ月あたり自立支援法による身体介護が約74時間増で最も多く、重度訪問介護が約23時間増、家事援助が23時間増、介護保険が、20時間増となっている。

【利用時間】

(単位：時間)

月	ホームヘルプ事業利用時間							合計
	自立支援居宅介護事業 (身体・知的・児童)			難病	介護保険訪問介護事業			
	家事援助	身体介護	重度 訪問介護	身体 介護	生活援助	身体	身体→ 生活	
4	524.4	1165.1	584.5		88.8	65.0	131.0	2558.8
5	541.0	1285.5	616.4		97.8	76.4	130.9	2748.0
6	526.5	1295.3	625.8		97.2	72.3	141.3	2758.4
7	516.0	1229.6	640.6		92.1	71.6	129.7	2679.6
8	523.8	1213.1	661.0		97.8	91.9	147.7	2735.3
9	556.9	1183.0	585.7		98.0	86.1	138.6	2648.3
10	560.6	1225.9	444.5		94.9	56.4	138.9	2521.2
11	565.7	1236.0	631.4	4	86.5	54.8	155.3	2733.7
12	584.0	1251.0	656.8	5	94.6	65.5	151.7	2808.6
1	628.3	1172.4	634.0	4	90.2	81.4	144.9	2755.2
2	576.3	1161.5	619.9	4	117.4	90.4	80.0	2649.5
3	624.3	1201.8	645.9	5	133.1	143.3	89.9	2843.3
合計	6727.8	14620.2	7346.5	22	1188.4	955.1	1579.9	32439.9
月平均 利用時間	時間 2703時間 (自立支援によるホームヘルプ約2393時間 介護保険によるホームヘルプ約310時間)							

【ホームヘルパー現任研修会】

月日	場所	内容	出席数
9/18	ラポールひらかた 特別会議室2	「在宅生活について」～当事者の立場から～ 講師：坪井 英里 氏	26人
2/19	ラポールひらかた 特別会議室2	「障害者自立支援法を取り巻く現状と展望」 講師：パーソナルサポートひらかた 長尾 祥司氏	32人

14. 移動支援事業

障害者自立支援法に基づく市町村事業である地域生活支援事業の移動支援事業(ガイドヘルプ事業)として余暇活動、施設や作業所及び地域活動支援センター・ショートステイ施設・入所施設への送迎等、利用者の意思及び人格を尊重し、多種多様なサービスを行った。

障害者自立支援法の根幹である自己選択と自己決定により、本人の意思を聞き取り、ニーズに沿ったサービスを心がけた。コーディネート業務を主軸とし、利用者からの相談、ヘルパーへの指導、助言等をきめ細かく行った。また、ヘルパーの業務内容が外出支援であるため、リスク管理を含めた緊急事態に対応できる体制を整えた。

月1回サービス提供責任者会議を実施し、ケース検討や派遣調整、待機ケースの課題等について話し合った。また、今年度はよりよい支援を目指して、複数のガイドヘルパーがかかわっているケースについてのケース会議やガイドヘルパー全員を対象に実施する現任研修会を昨年度より多く実施し、事業所とガイドヘルパーの連携の強化に努め、事業所全体の資質の向上を図った。

移動支援事業は単なる余暇支援ではなく、利用者が地域で暮らすための生活支援の一端を担っているという観点から関係機関との連携を積極的に行い、必要に応じてサービス調整会議を開催した。

また、行政と事業者が連携し障害者自立支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、会の中心的な役割を担った。

(1) 事業の状況

①利用（契約）者状況

移動支援事業では、新規契約者は14人(身体3人・知的4人・児童7人)。解約者は4人でその内訳は死亡2人、他市への転居1人、他事業所への移行1人となっている。3月現在、394人。そのうち、月平均、220人の契約者が利用しており、約170人は、契約のみで利用には至っていない。本会への契約希望者も多く、現状の利用者へのサービスの質及び量の確保のため 緊急の場合を除いて新たな契約者を制限しているが、少しずつ受け入れる努力もしている。3月末で24人が契約待機状態となっており、移動支援の利用のニーズの高さが伺える。また、精神障害の契約者はいないが、知的障害との重複者については知的障害者に含めている。また、ヘルパーについては広報活動の効果もあり、女性272人、男性95人、全部で367人の登録者となっている。中高年の男性について比較的多く確保でき、同性介護のニーズに応えることができるようになってきた。契約者の多様なニーズに応えるためには、若年層等、幅広い人材の確保が課題である。

【利用（契約）者数】

(単位：人)

月	移 動 支 援 事 業				合 計
	身体障害者	知的障害者	児 童	精神障害者	
4	15	336	35	0	386
5	16	336	36	0	388
6	15	336	38	0	389
7	15	337	39	0	391
8	15	337	39	0	391
9	15	339	40	0	394
10	15	342	38	0	395
11	17	342	37	0	396
12	17	342	37	0	396
1	17	342	37	0	396
2	17	342	36	0	395
3	16	341	37	0	394

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

② 利用時間

市町村事業である移動支援事業は、他市のように1ヶ月の区切りで時間が制限されるのではなく3ヶ月で150時間というように利用時間を調整できるニーズに即した利用しやすい制度となっている。その影響からか、夏休み期間の8月、春休み期間の3月に利用時間数が最も多くなっている。特に3月は、今までにない5000時間を越える利用となった。今年度利用時間は、55544時間で月平均4629時間となった。昨年度と比較して年間で284時間増、月約24時間の増、昨年度のような著しい伸びではないが増加傾向となっている。1人あたりの月利用時間は約21時間で、昨年度より1.3時間の増。一人あたりの利用時間がそれほど増えていないことから、利用者数の増加ということが見て取れる。

特に施設・作業所等の通所送迎は毎日のことであるためコーディネイト業務が非常に煩雑であるが、スタッフの増員や効率的な運営等を行い、可能な限りのニーズに対応した。

【利用時間】

(単位：時間)

移動支援事業						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
4735.3	4698	4652.5	4750	4939.5	4399	4550.8
11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均利用時間
4582.5	4576	4390	4258	5012.3	55543.9	4629

【ガイドヘルパー現任研修会】

月日	場所	内容	出席数
10/19 10/25	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「知的障害のある人への支援について」 ～発達障害・自閉症等への理解～ 講師：さわらび診療所 管理医師 稲垣 亮祐氏 講師：安原こどもクリニックこども教育研究所 主任研究員 近藤 春洋氏	100人 66人
2/21 2/29 3/27	ラポールひらかた 大研修室 研修室1	テーマ：「ガイドヘルパーの意見交流会及び障害福祉状況と平成23年度在宅福祉課事業報告」	50人 63人 27人

15. 総合福祉センター管理運営事業

老人福祉センターとしては、高齢者の健康と福祉の増進を図るため、生活及び健康に関する相談や趣味の講座の開催、ビリヤード等遊具の貸出を行った。市民福祉センターとしては、市民の文化教養等の福祉の増進を図るため、市民講座の開催や茶道の体験行事、グラウンドゴルフや卓球の提供を行った。また、小学生とセンターを利用するシニアグループとの世代間交流行事として、水彩画と料理の体験行事や絵手紙を作成し被災地へ送る活動を行った。

(1) 開所日数及び利用証発行件数

(単位：日、件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	26	26	26	27	26	26	26	26	25	23	25	27	309
利用証発行件数	894	193	79	77	49	42	107	79	45	34	49	53	1,701

※利用証発行内訳（高齢者 1,406、市民 173、作業所 122）

(2) 使用許可申請状況

(単位：件、人)

老人福祉センター		
室名	件数	利用者数(延)
大広間	411	9,171
機能回復訓練室	1,236	18,914
和室1	331	3,048
和室2	618	3,997
和室3		
会議室1	418	6,136
会議室2		
会議室3	400	3,546
会議室4		

市民福祉センター		
室名	件数	利用者数(延)
講座室	512	16,654
料理教室	226	2,874
和室4		
和室5	424	5,872
和室6		
保育室	10	467
会議室5	407	5,133
会議室6	417	6,599
茶室	137	1,320

浴室 (男)	103	2,424
浴室 (女)	103	2,597
図書室	618	956
体育室	1,607	39,295
1階ロビー	927	12,736
計		
	6,772	102,820

2階ロビー	628	3,278
グラウンド	569	6,094
計	3,330	48,291

老人作業所		
室名	件数	利用者数(延)
老人作業室	519	4,882

(3) 講座開催状況

(単位:日、人)

講座・講習会名	延開講数	延受講者数	講座・講習会名	延開講数	延受講者数
趣味の講座			市民講座		
水彩画講座	10	185	すっきりストレッチ&健康運動	7	166
// 絵手紙講座	10	171	// 絵手紙講座	6	98
// 墨彩画講座	6	101	// ハワイアンフラ講座	10	191
// 和紙ちぎり絵講座	6	101	// 料理講座A	6	119
// 編み物講座	8	174	// 料理講座B	6	119
// ルーシーダットン講座①	10	201	// プレゼントカードづくり	1	9
// ルーシーダットン講座②	10	191	文化体験行事(茶道)	1	180
// すっきりストレッチ&健康運動	10	244	世代間交流行事	2	61
// ハワイアンフラ講座	10	229	ロビーコンサート(ハトベル)	1	60
// 健康体操講座(作業所)	10	152	介護・福祉・健康講座	3	154
計			計	133	2,906

(4) バス送迎状況

月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数
4	252	3,109	8	252	2,910	12	242	2,890
5	250	3,137	9	252	2,934	1	222	2,857
6	252	3,295	10	250	3,723	2	242	3,136
7	260	3,128	11	252	3,304	3	262	3,185
計							2,988回	37,608人

福祉バス利用回数	利用人数	車いす
高齢社会室	63	1,944
障害福祉室	15	467
ラポール	23	689
地域福祉課	32	1,052
合計	133	4,152

(5) 老人福祉センター相談等事業

内 容	実 績	件 数
生活及び健康に関する相談	生活相談(開設日309日)2人 なんでも相談(開設日12日)43人 健康相談(開設日309日)5,066人	5,111人
生業及び就労のための指導	開設日309日	0人

機能回復訓練の実施	ヘルストロン 延 13,848 人 健康体操 (火～土曜日実施) 延 3,651 人	17,499 人
教養講座の実施 ※内容は42ページ(3)講座 開催状況に記載	趣味の講座 10講座 90回 市民講座 6講座 36回 文化体験行事(茶道講座) 1回 世代間交流行事(小学生とシニアグループ) 2回 介護・福祉・健康講座 3回 ロビーコンサート(ハンドベル) 1回	延 1,749 人 延 702 人 180 人 61 人 154 人 60 人
老人クラブに対する援助	福祉バスの運行	63 回

(6) 運営委員会開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
3/24	総合福祉センター	・平成23年度事業報告について ・平成24年度事業計画について ・平成23年度利用者アンケート結果報告	7人

(7) 啓発活動状況

*機関紙『ふれあいステーション』の発行

第79号2,105部(7/10)、第80号2,105部(1/1)を作成しセンター利用者・関係機関・団体・施設等に配布。

*館内情報紙『センターだより』の発行 毎月発行 各500部

*各種事業の案内・・・社協だより、広報ひらかた、ホームページ等

*啓発用パンフレット配布・・・一般・関係機関

*同好会活動の活性化

- ・受付で、センターでの活動希望者に同好会活動を紹介
- ・同好会参加募集の依頼に応じ、掲示板で紹介

(8) 利用者アンケートの実施

*利用者アンケート 1月17日～2月16日 協力者数811人

(9) 職員研修の実施

4月18日 接遇・人権研修、受付職員研修

16. くすの木園(生活介護)管理運営事業

本園では利用者の人権を大切にするという観点から、個々の意思・個性を尊重し、利用者の立場にたった支援を心がけてきた。利用者一人ひとりが地域で豊かに安心して生活できるよう、家族・地域・関係機関等と連携を図りながら、日中活動の計画的な実施及び適切な支援に努めた。

平成23年度は、平成23年1月に生活介護事業所へ移行したことにより、サービス管理責任者や看護師の配置を含め4名の生活支援員を増員した。これによりサービス管理責任者を軸に各種必要書類(フェイスシート、アセスメントシート等)を整備し、支援会議を重ね職員間で必要な情報の共有化と個別支援計画の中身を深めるなど、より充実した支援システムを構築した。また利用者に応じたよりきめ細やかなサービスが行えるように、支援体制の充実と基本クラスを2クラスから3クラスに増やし、フライデーサークルなど活動グループの細分化を行うなどの工夫をした。日々の作業面では一部の内職がなくなり、本人支給費の捻出が心配されたが、新たな取り組みとして市所有地を借用して新鮮野菜の栽培に取り組み、ジャガイモや大根、ゴーヤ等が収穫でき、わずかではあるが作業収入とすることができた。次年度は計画的・継続的に農耕

作業を実施し、園で採れた新鮮野菜を地域に販売することで利用者と地域住民の交流の機会となるよう準備をすすめた。

平成23年度の開所日数は土曜臨時開所日を含め253日、平均利用人数は90.4%であった。
 施設の設定備面においては、老朽化した厨房給湯器の取替えや各作業室に加湿器を設置するなどの改善を行った。

①利用者状況（平成24年3月31日現在・在所者33人）

(ア) 年齢別の状況

(単位：人)

年齢	20歳未満	20歳以上～ 25歳未満	25歳以上～ 30歳未満	30歳以上	計	平均年齢
男	0	8	8	3	19	25.2歳
女	0	4	7	3	14	26.9歳
計	0	12	15	6	33	25.7歳

(イ) 在所年数の状況

(単位：人)

	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5年～	計
男	0	1	3	0	19	23
女	0	0	4	0	6	10
計	0	1	7	0	25	33

②障害の状況

(ア) 療育手帳判定

(単位：人)

判定	A	B1	B2	計
性別				
男	23	0	0	23
女	9	1	0	10
計	32	1	0	33

(イ) 障害程度区分

(単位：人)

区分	1	2	3	4	5	6
性別						
男	0	0	2	3	8	10
女	0	0	2	2	2	4
計	0	0	4	5	10	14

③月別在所者数・月別出席率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
在所者数(人)	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
開所日数(日)	21	21	22	20	21	21	22	22	21	19	22	21
在所者数×開所日数(日)	693	693	726	660	693	693	726	726	693	627	726	693
延利用数(人)	661	633	687	594	638	643	656	641	624	557	599	611
出席率(%)	95.4	91.3	94.6	90.2	92.1	92.8	90.4	88.3	90.0	88.8	82.5	88.2

(年間開所日数 253日 年間平均出席率 90.4%)

④年間行事の実施状況

月	日	行 事	保護者会	土曜開所
4	1	新年度事業内容説明会	4月 1日	4月16日
5	11	交流会	5月11日	5月14・28日
6	5	ふれあいフェスティバル (自由参加)	6月15日	
7	9	スポーツ交流会 (保護者参加日)	7月 6日	7月16日
	11	スポーツ交流会代休		
8	11	I期終業日	8月31日	8月6・20日
		夏休み 8/12～17		
	18	II期始業日/		
9				9月10・17日
10	28	くすの木まつり準備 (代休)	10月19日	10月1・8日
	29	第31回くすの木まつり		
			11月30日	11月12・26日
11	11	第1回 外出活動I班		
	18	第1回 外出活動II班		
	14	参観日		
	15	参観日		
12	2	第1回 外出活動III班		12月10・17日
	18	ジョイフルクリスマス (自由参加)		
	22	クリスマスパーティー		
	28	II期終業日		
		冬休み12/29～1/5	1月18日	1月7・21日
1	6	III期始業日	2月22日	2月18日
2	1	参観日		
	2	参観日		
	3	第2回 外出活動I班		
	10	第2回 外出活動II班		
	24	第2回 外出活動III班		3月3・24日
3	8	一泊旅行 3/8～3/9		
		春休み 3/28、29		
	30	III期終業日・年度末パーティー		

⑤くすの木園運営懇談会の開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
2/27	枚方市立 くすの木園	・くすの木園の現状と平成23年度の取り組みについて ・くすの木園の課題と今後について ・利用者の意見発表	14人

⑥作業収入集計表

(単位：円)

月	牛乳パック	アルミ缶	箱折り	チューブ	もぎり	紙すき染紙	ふれあいコーナー	再生資源報償金 まつり売り上げ 野菜販売その他	計
4	2,016		8,530	16,288	8,180	1,300	1,233	1,150	38,697
5		27,000		8,835	3,660	300	765		40,560
6	2,480		2,879		1,520	4,500	1,870	17,300	30,549
7	2,184		6,200		1,740	2,400	850		13,374
8			7,000		1,960		510	6,331	15,801
9	3,360	24,570	12,241		1,480		850	5,600	48,101
10		29,700			5,640		680	5,680	41,700
11	3,612	25,515	5,040		3,460	2,400	3,400		43,427
12					4,660	4,450	1,105	137,036	147,251
1	4,173		4,890		800	2,880	1,360	6,860	20,963
2	1,760		8,375				1,105		11,240
3	2,016	22,680	6,375		9,800	3,100	4,650	8,000	56,621
計	21,601	129,465	61,530	25,123	42,900	21,330	18,378	187,957	508,284

*作業収入から消費税及び地方消費税相当額を差し引いたものを本人支給費として、年間12回に分けて利用者に支給した。

⑦ボランティアの協力状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延人数	29	30	37	30	24	28	116	22	10	25	32	19	402

17. 共同生活援助・介護事業

「れいんぼう」「ひまわり」「コスモス」「たんぽぽ」の4カ所の運営を行った。ケアホームで快適な生活を送ることができるように一人ひとりの思いを尊重したホームの運営を目指した。利用者が地域生活をより豊かにするため、社会資源等（地域の書道教室、絵画教室、将棋教室等への参加、ガイドヘルパーとの外出等）を活用し、余暇活動の充実を図った。利用者個々の生活上、様々な問題については、必要に応じて生活支援員の配置や関係機関と連携を図りながらケース会議等を行い対応した。

今年度よりさらなるケアホームのサービスの質の向上を目的として食事作りの世話人を夕方の時間帯に加配して世話人体制の充実を図った。またケアホーム4カ所の世話人の連携を強化することや内部研修として他のケアホームの実習を実施し、緊急時等において各ホーム間の世話人の連携で対応できている。

「枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会」を中心的に担い、枚方市内のケアホーム運営事業所と情報交換等により連携を深めると共に、地域移行利用者の受け止め等について意見交換を行った。また市内世話人を対象に「災害時の対応と心構えについて」と「ケアホーム・グループホームの支援のあり方」をテーマにケアホーム・グループホーム世話人研修会を2回実施し、多くの参加があり世話人の資質の向上を図ることができた。また、今年度については、より良いサービスの提供を目指して独自で利用者アンケートや職員自己点検表を実施し、利用者の意見を聞きとることや職員一人ひとりの日常の仕事についての見直しを行い、支援の向上に努めた。

(1) 地域支援センターゆい世話人研修

項目	回数	人数	内容	場所
世話人初任者研修	13回	延べ11人	世話人の支援のあり方(現地実習)	各ケアホーム
世話人内部研修	68回	延べ226人	利用者の支援について個別支援計画等	各ケアホーム
世話人外部研修	2回	延べ20人	枚方市ケアホーム世話人研修会	ラポールひらかた

(2) 枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 世話人研修

月 日	研修内容(場所)	参加人数
10/11	枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 ケアホーム・グループホーム世話人研修会 テーマ「災害時の対応と心構えについて」 講師：杉森 貴広 氏(枚方市危機管理室)	98人
3/13	枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 ケアホーム・グループホーム世話人研修会 テーマ「ケース検討会」グループワーク	99人
合 計		197人

18. 障害者活動支援事業

障害のある人が社会参加や交流する機会として、各種レクリエーション行事を実施し、障害のある人の自立と社会参加を図った。ふれあいスポーツ交流会は実行委員会を設立して、市内の知的障害者関係機関等の協力を得ながら、知的障害のある人が実行委員となり、支援者と企画・準備を進めてきた。当日は実行委員会に参加している11団体と個人参加者併せて379人の参加があり、大きな成果があった。ジョイフルクリスマス会についても99人の参加があり大盛況のうちに終えることができた。

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内容
ふれあいスポーツ交流会 (障害のある人)	年1回 7/9	379人	106人	レクリエーション行事 枚方市立総合体育館
	実行委員会 計6回	実行委員12人		実行委員会参加団体 12団体
ジョイフルクリスマス会 (障害のある人)	年1回 12/18	99人	9人	レクリエーション行事 メセナひらかた

19. 障害児等療育支援事業

障害のある人やその家族の地域生活を支援することを目的として、訪問や外来の相談支援活動を中心に実施した。事業内容は訪問支援事業、外来相談支援事業、施設指導支援事業の3項目で行い、利用者のニーズに応じて柔軟に実施した。多様な利用者への対応を行うため、市内の福祉サービスや関係機関と連携しながら相談支援を行った。また市内の知的障害者関係機関の職員を対象として9月に「施設の取り組み～ケース事例を通して」1月には「知的障害者の性について」をテーマに研修会を開催、多くの参加があった。
※平成23年度末に委託元である大阪府で事業の見直しがあり、それに伴い本協議会においては平成23年度をもって事業廃止となった。

(1) 障害児(者)等療育支援事業(事業名は府事業名)

(単位:件)

	訪問支援事業	外来相談支援事業	施設指導支援事業
4月	6	5	0
5月	4	8	2
6月	3	4	1
7月	5	7	1
8月	8	6	1
9月	5	5	1
10月	5	12	2
11月	2	6	1
12月	6	6	1
1月	2	6	1
2月	2	5	1
3月	1	7	1
合計	49	77	13

(2) 枚方市知的障害者福祉ネットワーク 研修会

月日	研修内容(場所)	参加人数
9/7	枚方市知的障害者福祉ネットワーク研修会 テーマ「施設の取り組み～ケース事例を通して」 施設職員事例発表・グループディスカッション	70人
1/25	枚方市知的障害者福祉ネットワーク研修会 テーマ「知的障害者の性について」 施設職員事例発表・講師:浜田 寿美男氏	93人

20. 父子家庭日常生活支援員派遣事業

父親が就労等により不在のため、円滑に日常生活を営むことに支障がある父子家庭に対し、父子家庭生活支援員を派遣して、父子家庭の生活向上に努めた。平成23年度は当初1ケースでスタートしたが年度途中より新規ケースが1件増え計2件の支援を行った。2ケースのうち1件は6年生で、卒業まで無事に支援することができた。

【派遣状況】

件数	派遣延べ回数	内容
2件	午前8時～午後6時	0回
	午後6時～10時	154回
	午後10時～午前6時	0回
合計	154回	児童の保育、住居の掃除、身の回りの世話、食事の世話など

21. 地域包括支援センター事業

本会は、市内の地域包括支援センター13カ所の内、第1圏域(社協こもれび)と第2圏域(社協ふれあい)を担当し、要支援の利用者プラン作成、特定高齢者への地域支援事業のほか、介護支援専門員や介護サービス事業所

の後方支援や医療・介護施設のネットワーク、権利擁護・成年後見・高齢者虐待対応、地域社会資源の開発やネットワーク化に取り組んでいる。

平成23年度は(1)介護予防プラン作成(2)総合相談(3)各種事業、介護予防普及啓発・地域懇談会・地域ケア懇談会・地域介護予防活動支援・高齢者元気はつらつ健康づくり事業等(4)地域包括支援センター関係会議を実施した。

第1圏域では、圏域内の民生委員・事業所・医療機関との連携を深めるため、校区内の施設において民生委員とケアマネジャーとの懇談会・研修会や、クリニックの待合室にて医師とケアマネジャーの懇談会を開催。民生委員・事業所・店舗合同の懇談会等も実施し、顔の見える関係づくりを構築した。また、校区ごとに地域の集会所等で心と身体健康講座を実施し、介護予防の普及啓発を行った。

第2圏域では、牧野校区において牧野地域ケア懇談会を開催し地域連携を深めた結果、民生委員や府営住宅管理センター等からの連絡により支援を必要とする高齢者の掘り起こしに繋がった。樟葉西校区でも地域ケア懇談会の準備のために民生委員との意見交換を行い、小学校区ごとの立ち上げが進みつつある。

また、継続して、くずは地域懇談会(地域ケア会議)を行い、認知症サポーター養成講座と「災害時“くずは”に何が起こる？」をテーマとした講演会を実施。「気になることありませんか事業」を始め、くずは地域の埋もれた要援護者を発見するきっかけづくりを引き続き行った。その他、「出前教室」と題して地域に出向き、介護予防や権利擁護の講話や認知症サポーター養成講座を今年度も継続して開催した。

(1) 介護予防プラン作成

①要支援者

第1圏域(社協こもれび)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	130	131	133	135	133	133	138	135	138	144	141	145	1636人
委託	63	67	69	65	61	60	64	66	66	66	68	65	780人
月計	193	198	202	200	194	193	202	201	204	210	209	210	2416人

第2圏域(社協ふれあい)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	135	138	136	134	133	137	136	133	132	129	132	136	1611人
委託	77	75	79	78	75	77	78	78	84	79	78	76	934人
月計	212	213	215	212	208	214	214	211	216	208	210	212	2545人

②特定高齢者

第1圏域(社協こもれび)

介護予防プラン調査分 0件 介護予防プラン作成分 0件

第2圏域(社協ふれあい)

介護予防プラン調査分 0件 介護予防プラン作成分 0件

(2) 総合相談

第1圏域(社協こもれび)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	67	55	49	70	78	74	44	62	45	45	56	46	691件
来所	21	41	29	21	28	37	29	29	34	36	25	35	365件
訪問	3	10	12	12	10	13	12	10	7	14	8	4	115件
その他	1	1	7	2	1	1	3	4	1	3	1	5	30件
月計	92	107	97	105	117	125	88	105	87	98	90	90	1201件

第2圏域（社協ふれあい）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	84	63	104	76	84	77	85	83	92	84	136	85	1053件
来所	31	32	28	26	21	28	25	28	24	46	31	31	351件
訪問	26	32	36	35	22	31	23	20	29	24	35	22	335件
その他	1	1	5	0	8	9	5	4	3	5	8	6	55件
月計	142	128	173	137	135	145	138	135	148	159	210	144	1794件

※新規・継続を含めた件数

(3) 各種事業の実施

①介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）社協こもれび

月 日	場 所	内 容	出席数
6/30	楠葉生涯学習市民センター	心と身体の健康講座（音楽で心と身体をリフレッシュ）	67人
7/29	楠葉生涯学習市民センター	心と身体の健康講座（楽しく運動・身体に貯筋）	35人
8/30	楠葉生涯学習市民センター	心と身体の健康講座（お口のケアで万病予防）	33人
9/29	楠葉生涯学習市民センター	心と身体の健康講座（頭を使って若返り）	35人
10/26	朝日美咲集会所	心と身体の健康講座（音楽で心と身体をリフレッシュ）	38人
10/28	北楠葉自治会館	心と身体の健康講座（音楽で心と身体をリフレッシュ）	20人
11/25	北楠葉自治会館	心と身体の健康講座（楽しく運動・身体に貯筋）	10人
11/29	朝日美咲集会所	心と身体の健康講座（楽しく運動・身体に貯筋）	19人
12/16	北楠葉自治会館	心と身体の健康講座（お口のケアで万病予防）	12人
12/22	朝日美咲集会所	心と身体の健康講座（お口のケアで万病予防）	12人
1/20	北楠葉自治会館	心と身体の健康講座（頭を使って若返り）	17人
1/31	朝日美咲集会所	心と身体の健康講座（頭を使って若返り）	17人

②介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）社協ふれあい

月 日	場 所	内 容	出席数
6/30	センチュリー4番館集会所	バランスの良い食事とお家で簡単介護予防運動	50人
7/13	牧野生涯学習市民センター	腰痛予防教室	11人
10/25	センチュリー6番館集会所	口腔機能向上のお話・消費者被害寸劇	47人
10/28	牧野北住宅第1集会所	口腔予防教室	10人
11/16	枚方市市民交流センター	男性向け料理教室	7人
12/15	樋之上住宅集会所	口腔機能向上のお話・消費者被害寸劇	21人
2/8	牧野生涯学習市民センター	口腔機能向上のお話・消費者被害寸劇	14人
3/9	牧野生涯学習市民センター	男性向け料理教室	8人

③くずは地域懇談会（社協こもれび 社協ふれあい共通）

月 日	場 所	内 容	出席数
5/24	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会役員会	6人
6/28	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会	19人
9/29	樟葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会役員会	6人
10/27	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会	18人
2/2	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会役員会	6人
2/21	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会	18人
3/7	楠葉生涯学習市民センター	・認知症サポーター養成講座 ・講演（災害時くずはに何が起こる？）	33人 55人

④事業所懇談会等

第1圏域（社協こもれび）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/19	社協こもれび	第1圏域居宅事業所懇談会	9人
5/18	社協こもれび	第1圏域訪問介護事業所	9人
5/25	くずは新生園	民生委員・児童委員、ケアマネジャー懇談会	21人
7/12	デイサービスセンターくずは美郷	第1圏域民生委員・児童委員、ケアマネジャー懇談会	18人
7/13	山田誠クリニック	第1圏域医療機関・ケアマネ待合室懇談会	15人
7/28	くずは北デイサービスセンター	第1圏域民生委員・児童委員、ケアマネ懇談会	19人
9/13	楠葉生涯学習市民センター	民生委員・児童委員、事業所懇談会	33人
9/28	くずは北デイサービスセンター	通所介護事業所懇談会	11人
9/28	くずは北デイサービスセンター	事業所向け勉強会	23人
10/5	くずは清光会整形外科待合室	第1圏域医療機関・ケアマネジャー待合室懇談会	12人
11/24	社協こもれび	訪問介護事業所懇談会	8人
1/26	かわむらのりこクリニック	第1圏域医療機関・ケアマネジャー待合室懇談会	15人
2/22	社協こもれび	第1圏域訪問介護事業所	10人
3/5	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域民生委員・児童委員、ケアマネジャー懇談会	57人

第2圏域（社協ふれあい）

月 日	場 所	内 容	出席数
6/14	社協ふれあい事務所	平成23年度第1回地域懇談会	11人
7/11	牧野小学校アスティ	平成23年度第1回牧野地域ケア懇談会	19人
9/6	牧野小学校アスティ	牧野校区福祉委員会	25人
10/14	社協ふれあい事務所	牧野校区民生委員さんとの地域懇談会	15人
11/25	牧野小学校アスティ	平成23年度第2回牧野地域ケア懇談会	37人
3/12	牧野小学校アスティ	平成23年度第3回牧野地域ケア懇談会	27人

⑤地域介護予防活動支援（出前教室、認知症サポーター講座など）

第1圏域（社協こもれび）

月 日	場 所	内 容	出席数
5/17	楠葉野会館	樟葉校区福祉委員会いきいきサロン	50人
6/14	中の芝自治会館	中の芝ひとり暮らし老人会	34人
6/16	野田北集会所	樟葉北校区いきいきサロン	30人
7/8	ラポールひらかた	高齢者大学OB	14人
7/15	中楠葉集会所	和楽会	19人
8/3	楠葉生涯学習市民センター	葦の会	22人
8/25	枚方市民会館	杉中学校認知症サポーター養成講座検討会	5人
8/31	楠葉生涯学習市民センター	認知症サポーター養成講座 手話サークルくるくる	26人
9/21	枚方市民会館	通所リハビリ施設関係者及び一般市民	36人
10/7	くずはメディケアモール	認知症サポーター養成研修 一般市民向け	50人
10/7	くずはメディケアモール	医師と包括の意見交換	9人
10/19	社協こもれび	男性介護者のつどい	9人
10/21	杉中学校	杉中学校認知症サポーター養成講座	250人
11/18	中楠葉集会所	樟葉北校区いきいきサロン	26人

12/9	くずはメディケアモール	くずはメディケアモールとの意見交換	7人
1/18	社協こもれび	男性介護者のつどい	9人
3/6	枚方信用金庫楠葉支店	枚方信用金庫楠葉支店認知症サポーター養成講座	31人
3/24	樟葉南小学校	樟葉南校区いきいきサロン	24人
3/26	ラポールひらかた	校区福祉委員会協議会北エリア会議	27人

第2圏域（社協ふれあい）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/3	牧野北団地第2集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談2件）	40人
4/5	パッション研修事務所	上級介護職員養成研修	28人
5/15	牧野北団地第2集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談2件）	50人
5/25	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談1件）	30人
6/8	牧野北団地第1集会所	出前講座・悠生会	35人
6/12	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談8件）	30人
6/28	街角デイハウスなみき	出前講座・街かどデイハウス並木	10人
7/10	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談4件）	30人
7/17	牧野北団地第2集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談1件）	40人
8/7	牧野北団地第2集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談3件）	40人
8/10	くずはメディケアモール事務局	くずはメディケアモール認知症サポーター養成講座	14人
8/25	枚方市民会館第1集会室	杉中学校認知症サポーター養成講座検討会	5人
9/4	牧野北団地第2集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談2件）	20人
9/5	養父西自治会集会所	養父住宅会西認知症サポーター養成講座	30人
9/11	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談4件）	40人
10/2	牧野北団地第2集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談0件）	20人
10/14	枚方市民会館第1集会室	杉中学校認知症サポーター養成講座検討会	5人
10/21	枚方市立杉中学校	杉中学校認知症サポーター養成講座	250人
10/23	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談2件）	30人
11/20	牧野北団地第2集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談2件）	40人
12/4	牧野北団地第2集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談4件）	40人
12/11	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談3件）	40人
1/15	牧野北団地第2集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談5件）	30人
1/22	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談2件）	40人
2/5	牧野北団地第2集会所	牧野北団地「ふれあい喫茶」出前相談（相談2件）	30人
2/26	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談4件）	40人
3/6	枚方信用金庫楠葉支店	枚方信用金庫楠葉支店認知症サポーター養成講座	2人
3/11	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談2件）	40人

（4）地域密着型サービスの運営推進会議

グループホーム「はる」の運営推進会議に出席（6回開催）。また、第1～4圏域グループホーム連絡会に出席（3回開催）。

（5）地域包括支援センター関係者会議

市内13か所の地域包括支援センターの事業実施を円滑に推進するため、全体会議・保健師部会・社会福祉士部会・主任介護支援専門員部会を実施し、担当者が参加した。また、枚方市地域包括支援センター運営協議会に出席し、包括の活動報告を行った。

22. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業

市内全域にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、①地域福祉の計画的推進への支援②セーフティネット体制づくり③要援護者に対する見守り・相談④市町村への情報提供に取り組んだ。特に、地域における高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を必要とする人、又はその家族・親族等の支援や事業啓発を行うとともに、民生委員・児童委員の地区委員会や当事者の集い、校区福祉委員会が開催するサロン等に出席し、地域団体・専門機関と連携を図りながら、地域の要援護者の福祉の向上と自立生活の支援のための基盤づくりを行った。23年度は対応した事例を通して、地域でのCSWの具体的な活動を紹介し、地域住民・関係機関等へ啓発する機会として、校区コミュニティ協議会、民生委員児童委員協議会、校区福祉委員会を対象に講演会を開催した。

(1) CSW事業の推進体制

関係機関・団体等の会議に参加、連携を図り、事業推進のための体制づくりを行った。

①CSW配置促進事業連絡会（枚方市・枚方市社会福祉協議会・枚方人権まちづくり協会）

②CSW定例会

③枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議

（枚方警察署、枚方保健所、枚方寝屋川消防組合、枚方市地域包括支援センター、枚方市いきいきネット相談支援センター、枚方市高齢社会室）

④枚方市障害福祉サービス事業者連絡会

⑤地域ケア会議

⑥ひきこもり枚方地域ネットワーク会議

⑦府・市関係各課及び地域の関係機関・団体等との連携

(2) 要援護者に対する相談・セーフティネット体制

要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関とともに、見守りやサービス等の調整、複合する課題を抱えた人や公的サービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向けて取り組んだ。

①相談件数について

（北・中・南・東部）

相談対象者	延べ件数	件数	相談者数	
高齢者	378	217		
（うち）1人暮らし高齢者	(278)	150		
（うち）高齢者のみの世帯	(100)	67		
障害者	840	264		
（うち）身体障害者	(87)	38		
（うち）知的障害者	(149)	74		
（うち）精神障害者	(604)	152		
子育て中の親子	247	116		
一人親家庭の親子	74	37		
青少年	44	12		
DV被害者	35	13		
ホームレス	9	2		
外国人（中国帰国者を含む）	0	0		
その他	1,729	709		
合計	3,356	1,370		742

*内容別

相談内容	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	676	364
生活に関する身近な相談	511	345
健康・医療に関する相談	353	173
生活費に関する相談	372	117
就労に関する相談	224	82
財産管理・権利擁護に関する相談	157	48
消費者被害に関する相談	97	25
多重債務に関する相談	70	14
DV・虐待に関する相談	41	18
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	688	483
住宅に関する相談	115	64
子育て・子どもの教育に関する相談	184	145
その他	500	241
合 計	3,988	2,119

②グループホーム各地区連絡会に参加

③ケース検討会等を随時開催

(3) 広報・啓発活動

①CSW事業の啓発を目的に出張相談会を開催

- ・校区で開催するサロンで、定例相談コーナーを設置。
- ・いきいきネット相談支援センター・総合福祉センター・地域包括支援センター東香会共催による何でも健康相談・・・毎月第2火曜日に実施。
- ・枚方宿くらわんか五六市にて、CSW事業の啓発コーナーを設置・・・毎月第2日曜日に実施。
- ・ピオルネ枚方店での出張相談会・・・5月27日、7月26日
- ・社協だよりにPR記事掲載
- ・各校区福祉委員会発行の広報紙にCSWのPR記事を掲載
- ・活動報告、チラシ、パンフレット作成・配布

②講演会

月 日	場 所	内 容	出席数
3/7	メセナひらかた 会館	(講 演) 「枚方市におけるCSW事業の意義～住民との協働実践を通して」 講師：花園大学 社会福祉学科准教授 川島 ゆり子氏 (実践報告) 玉井CSW (人権まちづくり協会) 「近隣住民の声から地域支援の輪に」 立島CSW (社会福祉協議会) 「ゴミに埋もれていた一人暮らしの男性」	96人

(4) 交流会等の実施

- ・大東市CSW協議会との交流研修会・・・3/22

23. 地域活動支援センター事業

「地域支援センターゆい」は障害のある人の地域生活を支援することを目的に、地域活動支援センターⅠ型事業や障害者相談支援事業、日中一時支援事業等を実施した。

地域活動支援センター事業では日中活動（創作活動・生産活動・サロン等）を行った。創作活動は地域のボランティアに講師を依頼し書道教室や手芸教室等を実施すると共に、手話講座等の講座も実施した。特に今年度は料理教室の希望者が多く活動日数を増やして対応した。生産活動では農作業を行い、収穫したさつまいも等で料理の企画も併せて行った。またセンター企画で花見やカラオケなどの外出活動も実施した。サロン活動では利用者の来所も増え、利用者やボランティア等市民の憩いの場としてセンターが有効活用された。当センターの利用時間を10時から19時としていることや第1日曜日にラポールひらかたで開催していることで、就労している人や施設等に通っている人も気軽に利用でき、来所者の幅広い相談に対応することができた。その他、自主的グループ活動（ジョイジョイサークル）への支援や機関誌ゆい通信の発行、「地域支援センターゆい勉強会」を実施し、センターの利用者数は昨年に比べ増加した。また「障害者自立支援協議会」「枚方市知的障害者福祉ネットワーク」等に参加し枚方市障害福祉室や市内福祉サービス事業所等と連携を図り、市内の福祉サービスについての現状と課題についての学習会や情報交換を行った。

障害者相談支援事業では障害のある人の生活全般の相談を受け、地域住民や関係機関と連携を図りながら利用者ニーズに添った支援を行った。今年度も知的障害のある人からの相談が一番多く、「友達や家族等人間関係に関わる内容の相談」が大きく増えている。

日中一時支援事業は平常時は定期的に利用する利用者で予約が詰まっている状態であるが、学校の長期休暇期間においては定期利用者以外のニーズも多くなるので、短期契約職員を配置するなどの対応を行い、今年度利用者数が増加した。

【地域活動支援センター事業Ⅰ型】

	基 礎 的 事 業			Ⅰ 型 事 業		
	創作活動	生産活動	その他	医療・福祉及び地域との連携のための調整	地域住民・ボランティア育成	障害に対する理解促進を図るための普及活動
4月	105人	21人	351人	6回	46人	1回
5月	86人	9人	342人	8回	51人	2回
6月	91人	14人	361人	6回	52人	
7月	90人	15人	319人	7回	38人	2回
8月	98人	14人	443人	6回	31人	2回
9月	81人	14人	332人	6回	40人	
10月	107人	22人	423人	6回	38人	3回
11月	99人	21人	379人	7回	44人	2回
12月	91人	16人	359人	10回	34人	1回
1月	60人	17人	302人	6回	23人	3回
2月	100人	14人	396人	9回	48人	0回
3月	118人	14人	422人	9回	56人	0回
合 計	1126人	191人	4429人	86回	501人	16回

【ジョイジョイサークル活動・当事者の集い】

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内容
ジョイジョイサークル (月1回開催。市内在住・就労の知的障害のある人を対象にレクリエーションを中心としたサークル活動)	4月	20人	3人	花見・ミーティング (年間計画)
	5月	24人	2人	バーベキュー (穂谷)
	6月	23人	2人	ミーティング (旅行について)
	7月	19人	5人	スポーツ交流会参加
	8月	25人	2人	ミーティング (旅行について)
	9月	28人	6人	一泊旅行 (和歌山県白浜方面)
	10月	38人	1人	ミーティング (外出について)
	11月	29人	6人	外出 (宇治・USJ)
	12月	30人	2人	ジョイフルクリスマス会参加
	1月	25人	2人	私の主張・新年の集い
	2月	26人	3人	ボーリング
	3月	27人	0人	ミーティング (1年を総括)
	当事者の集い「わたしの主張」	年1回 (1月15日)	52人	49人
実行委員会 (計3回)		21人	21人	
合計 (延べ人数)		387人	104人	

【地域支援センターゆい勉強会】

	参加者数
8月 7日 (日) テーマ「枚方市・障害者計画について」 場所：ラポールひらかた	24人

【日中一時支援事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	34人	26人	31人	30人	48人	23人	29人	29人	34人	26人	36人	36人	382人

【障害者相談支援事業】

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
4月	33人	11人	17人	2人	17人	52人
5月	37人	6人	18人	5人	14人	59人
6月	60人	5人	12人	7人	3人	40人
7月	44人	5人	17人	3人	1人	45人
8月	65人	4人	17人	2人	5人	74人
9月	40人	8人	14人	6人	3人	47人
10月	57人	8人	20人	12人	0人	53人
11月	54人	5人	9人	6人	0人	47人
12月	41人	3人	10人	1人	3人	51人
1月	34人	7人	9人	2人	0人	51人

2月	29人	11人	10人	5人	1人	58人
3月	60人	14人	15人	4人	5人	63人
合計	554人	87人	168人	55人	52人	640人

	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
4月	3人	5人	13人	0人	0人	0人
5月	5人	17人	11人	3人	1人	0人
6月	2人	8人	6人	1人	0人	0人
7月	1人	14人	10人	1人	0人	0人
8月	7人	14人	7人	3人	6人	0人
9月	7人	8人	8人	6人	2人	0人
10月	6人	12人	5人	0人	3人	0人
11月	5人	11人	2人	0人	3人	0人
12月	7人	7人	6人	0人	8人	0人
1月	2人	8人	3人	3人	3人	0人
2月	4人	0人	2人	2人	6人	0人
3月	2人	9人	5人	3人	7人	0人
合計	51人	113人	78人	22人	39人	0人

24. 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

市内に在住する生後4カ月までの乳児のいる家庭を対象に、子育て支援活動の経験がある訪問員が訪問し、子育てについての不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供につなげるなど、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に、乳児家庭全戸訪問事業を実施した。

(1) 訪問件数

(単位 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
出生者数	279	261	280	278	287	268	286	281	309	294	261	263	3,347
訪問家庭数	252	226	235	250	246	236	256	239	279	255	229	223	2,926

*訪問家庭数は、新生児家庭訪問の実施世帯等を除いたものとなっています。

(2) 訪問員について

- ・訪問員数 57人(平成24年3月31日現在)
- ・訪問員の要件 保育士等の有資格者、または子育て支援活動の経験のある市民

(3) 訪問員研修会の開催状況

事業の目的を理解し、訪問員としての基礎的な知識の習得と資質の向上を図ることを目的に実施した。

月日	場所	内容	出席数
10/14	ラポールひらかた大研修室	① グループワーク ② 関係機関からのアドバイス	29人
2/7	ラポールひらかた大研修室	① 講演～新生児訪問について 講師 大阪府助産師会枚方支部 黒田 晴代 助産師 ② 関係機関からのアドバイス	17人

(4) 運営会議・ケース会議の開催

本事業に関わる関係各課が参画し、事業に関する連絡調整及びケース対応検討を目的に開催。
枚方市（子育て支援室、家庭児童相談所、保健センター）、社会福祉協議会が参加

月 日	場 所	内 容	出席数
4/12	ラポールひらかた 特別会議室 1	・ 3 月度訪問実績について ・ ケース検討について ・ 会議の運営方法について	11人
5/17	ラポールひらかた 特別会議室 1	・ 4 月度訪問実績について ・ ケース検討について ・ 会議の運営方法について	12人
6/17	保健センター	・ 5 月度訪問実績について ・ ケース検討について	10人
7/8	保健センター	・ 6 月度訪問実績について ・ ケース検討について ・ 会議の運営方法について	11人
8/4	保健センター	・ 7 月度訪問実績について ・ ケース検討について	10人
9/1	保健センター	・ 8 月度訪問実績について ・ ケース検討について ・ 訪問員研修会について	10人
10/5	保健センター	・ 9 月度訪問実績について ・ ケース検討について	10人
11/2	保健センター	・ 10 月度訪問実績について ・ ケース検討について ・ 訪問員研修会について	11人
12/2	保健センター	・ 11 月度訪問実績について ・ ケース検討について	9人
1/6	保健センター	・ 12 月度訪問実績について ・ ケース検討について ・ 訪問員研修について	11人
2/2	保健センター	・ 1 月度訪問実績について ・ ケース検討について	11人
3/5	保健センター	・ 2 月度訪問実績について ・ ケース検討について ・ 訪問員研修会について	12人

(5) 訪問員連絡会の開催

訪問員相互の懇談と事務連絡を目的に、訪問員を対象に連絡会を開催。

月 日	場 所	内 容	出席数
6/29	ラポールひらかた 研修室 1	・ 事務連絡 ・ 訪問員どうしの情報交換 ・ 相談員から、訪問時の注意すべきことについての助言	27人

(6) 相談員の設置

訪問時に作成する訪問個表の提出期間中等に、保育士資格者を相談員として1名配置し、訪問員に助言や指導を行う。平成23年度36日間実施。

25. 総合福祉会館管理運営事業

(1) 総合福祉会館の管理・運営

障害者や高齢者などの生活支援に必要な情報やサービスの提供、部屋の貸し出しを行い、市民活動やボランティア活動の支援を行った。

①開館日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	30	29	28	26	28	30	348

②部屋別利用状況

ア) 有料室

(単位：件)

室名	午前	午後	夜間	合計	利用率(%)
研修室1	151	260	134	545	52.2
研修室2	201	268	106	575	55.1
研修室3	253	290	160	703	67.3
研修室4	236	285	96	617	59.1
集会室	229	278	135	642	61.5
和室	202	237	106	545	52.2
大研修室	220	291	113	624	59.8
保育室	135	174	27	336	32.2
作業室	122	136	33	291	27.9
日常生活訓練室	127	115	46	288	27.6
合計	1,876	2,334	956	5,166	49.5

*利用率=利用回数/(開館日数(348)×3)×100

イ) 無料室

(単位：件)

室名	午前	午後	夜間	合計	利用率(%)
ミーティングルーム1	254	304	246	804	77.0
ミーティングルーム2	250	292	244	786	75.3
ミーティングルーム3	289	292	77	658	63.0
福祉団体共用ルーム	252	262	169	683	65.4
福祉情報制作室	197	106	49	352	33.7
録音室	107	33	0	140	13.4
合計	1,349	1,289	785	3,423	54.6

*利用率=利用回数/(開館日数(348)×3)×100

ウ) 施設見学受入状況

(単位：件・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	1	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	5
人数	0	20	72	0	0	0	0	20	0	90	0	0	202

エ) 登録団体の状況

登録団体数	144団体
-------	-------

内、障害者団体 72団体、ボランティア団体 65団体、その他団体 7団体(法人団体等)

オ) 温水プール事業

a) 開館日数

(単位:日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	25	25	25	26	25	25	26	24	24	22	24	26	297

b) 利用者の状況

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
大人	1193	1422	1653	2225	2140	1697	1479	1277	1074	1192	1265	1458	18,075
子ども	213	323	449	905	770	357	260	178	191	165	139	251	4,201
高齢者	1344	1279	1477	1648	1842	1551	1512	1261	1199	1233	1282	1486	17,114
障害者	1691	1717	1862	2166	2498	1900	1868	1697	1526	1390	1504	1735	21,554
合計	4441	4741	5441	6944	7250	5505	5119	4413	3990	3980	4190	4930	60,944

c) 利用者別利用率

	大人	子ども	高齢者	障害者	合計
人数(人)	18,075	4,201	17,114	21,554	60,944
利用率(%)	29.6	6.9	28.1	35.4	100

d) 水泳教室開催状況

教室	開催日程	開催日数	参加者延べ人数
障害者のための 初心者水泳教室	6月 1日～ 7月 13日	7日	92組147人
	9月 7日～10月 19日	7日	89組135人
	11月 2日～12月 21日	7日	93組139人
	1月 18日～ 2月 29日	7日	90組128人
障害者のための 親子水泳教室 (幼児)	6月 3日～ 7月 15日	7日	58組116人
	9月 9日～10月 28日	7日	54組108人
	11月 4日～12月 16日	7日	66組132人
	1月 20日～ 3月 2日	7日	60組120人
障害者のための 親子水泳教室 (小・中・高校生)	6月 4日～ 7月 16日	7日	105組210人
	9月 10日～10月 22日	7日	101組202人
	11月 5日～12月 17日	7日	94組188人
	1月 14日～ 3月 3日	7日	95組190人
高齢者のための 初心者水泳教室	6月 1日～ 7月 13日	7日	119人
	9月 7日～10月 19日	7日	138人
	11月 2日～12月 21日	7日	134人
中高齢者ための 中級水泳教室 (クロール・背泳ぎ)	11月 7日～12月 19日	7日	132人
	1月 16日～ 2月 27日	7日	127人
一般水泳教室 (初級・クロール)	1月 18日～ 2月 29日	7日	81人
中高齢者アクア ウォーキング教室	6月 2日～ 7月 14日	7日	183人
	9月 8日～10月 20日	7日	200人
	11月 10日～12月 22日	7日	205人
	1月 19日～ 3月 1日	7日	216人
中高齢者	6月 2日～ 7月 14日	7日	161人

水中体操教室	9月 8日～10月 20日	7日	204人
	1月 19日～ 3月 1日	7日	186人
合 計		175日	3,901人

③福祉図書コーナーの運営

ラポールひらかた4階の福祉図書コーナーに、福祉関係図書4,583冊、ビデオ約947本、DVD54本その他関係資料を設置し、市民が自由に閲覧・視聴できるように管理運営を行っている。

また、地域福祉情報の拠点として、福祉情報の収集・整理を行い、適切に市民に提供できる体制づくりを進め、市民から寄せられる多岐にわたる福祉情報に関する相談・質問に応じた。

*開所日時 月曜日～日曜日（第2日曜日、年末年始は休室） 午前9時～午後5時30分

*現在登録者数 3,427人

*おはなしサロン（9/15, 3/14）

*手話で歌おう（11/15）

*第1回ひらかた社協ふくしフェスティバル（12/3）

*啓発事業

*手話入門教室

*体験教室（アイマスク・白杖・点字）

}（各種事業の開催 ラポール福祉講座で掲載）

*コーナー利用状況

開所日数	来所者数
348日	12,419人

*ライブラリー利用状況

登録者数（新規）	書籍貸出数	ビデオDVD貸出数
206人	2,447冊	196本

*相談利用状況（4月1日～翌年3月31日）

来所相談件数	電話相談	相談総数
379件	60件	439件

④車いす貸し出し状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
貸出台数（台）	38	70	64	22	29	45	98	174	26	32	29	61	688
貸出件数（件）	23	30	26	19	28	32	33	50	20	14	20	33	328

*車いす総保有台数 28（自走車23台、介助者5台）

⑤各種相談事業の開催

*ふくし相談

高齢者の介護や障害を持つ方の生活問題等、福祉全般の相談に応じた。

・相談日時 毎週月曜日 午後1時～4時 ・相談員（福祉相談員） 1人

・開設日数 47日 ・相談件数 12件

会館相談

・相談日時 月曜日から金曜日 午前9時から午後5時30分 ・相談員（会館職員）

・開設日数 244日 ・相談件数 96件

*心の健康相談

心の健康に関するさまざまな問題や不安等の悩みについて、精神保健福祉士及び臨床心理担当者が面接相談に応じた。

・相談日時 毎週金曜日 午後1時～4時 ・相談員 臨床心理担当者 2人

・開設日数 49日 ・相談件数 70件

*父子家庭相談員設置事業

父子家庭が日常生活において直面する家事・育児・教育・経済問題などに対して、必要な情報提供、社会資源の活用など適切な助言を行い、父子家庭の福祉の増進を図ることを目的に相談に応じた。

相談員数	相談件数	相談内容
8人	6件	・父子家庭での子育てについて ・生活問題、生活上の悩みについて

*要介護老人家族の相談員設置事業

寝たきりや認知症高齢者を介護する方の日常生活に直面する課題に対して、社会資源の活用など適切な助言を行い、要介護老人とその家族の福祉増進を図ることを目的に相談に応じた。

相談員数	相談件数	相談内容
12人	653件	・日常の介護の悩みについて ・介護技術、介護用品、福祉サービスの利用等について

⑥各種事業の開催

*ラポール福祉講座

月 日	内 容	参加者数
10/6	◎子育て応援講座(わくわく教室・全5回) 子どもと遊ぼう!①(手遊び) 講 師:保育士 徳井 ノブ子 氏 吉岡 淑子 氏	()は子どもの数 11組 (13人)
10/13	子どもと遊ぼう!②(読み聞かせ) 講 師:保育士 徳井 ノブ子 氏 吉岡 淑子 氏	8組 (10人)
10/20	プチ勉強会「食育について」 講 師:栄養アドバイザー「萌」 濱上 和代 氏 他	9組 (11人)
10/27	調理実習「野菜メニュー」 講 師:栄養アドバイザー「萌」 濱上 和代 氏 他	7組 (8人)
11/10	座談会 講 師:保育士 徳井 ノブ子 氏	7組 (9人)
11/7 ・ 11/21	◎生き行き講座 歌体操教室(全2回) 「リズム・歌に合わせて体操」 講 師:いきいき歌体操HAND 吉岡 京子 氏 他	17人 ・ 12人
12/18	◎幼児安全法短期講習会 「子供がケガや病気をしたときの対処、応急手当」 講 師:日本赤十字社大阪府支部 和田野 元美 氏	22人
2/28	◎災害時高齢者支援講習会 「災害時における対処法を紹介、有事に備える」 講 師:日本赤十字社大阪府支部 和田野 元美 氏	11人
3/2	◎生き行き講座 料理教室 「認知症を予防する講話と調理実習」 講 師:枚方市健康づくり食生活改善協議会 田畑 卿子 氏 他	21人
3/20	◎ホームヘルパーおさらい講座 「就労につながらない方の、不安な部分の解消や初歩的な実技をおさらい」 講 師:枚方市社会福祉協議会 在宅福祉課 川上 雅英	16人

(福祉図書コーナー啓発事業)

9/15	福祉ミニ教室「体験教室」 「当事者の話やアイマスク、白杖、点字等の体験を行う」 講 師：図書コーナースタッフ	3人
2/27 ・ 3/5	福祉ミニ教室「手話講習会」 「簡単なあいさつや、これから手話を習いたいという方への入門編」 講 師：図書コーナースタッフ	14人 ・ 11人

*ラポール市民講座

月 日	内 容	参加者数
5/12～7/14	太極拳教室 10回 講師：大阪武術太極拳連盟 普及指導員 松井 治三郎 氏	164人
6/3～7/22	ヨガ連続講座 8回(夜間) 講 師：NPO法人日本YOGA連盟 山口 洋博子 氏	134人
9/7～11/9	ヨガ連続講座 8回(昼間) 講 師：NPO法人日本YOGA連盟 山口 洋博子 氏	147人
9/16～10/28	プレママヨガ教室(妊婦を対象としたヨガ教室) 4回 講 師：助産師兼インストラクター 片山由美・田中亜弥子 氏	28人
10/7～11/18	プレママアクア教室(妊婦を対象としたアクアエクササイズ) 4回 講 師：インストラクター 廬原まゆ美氏 他・助産師 松本奈美江氏 他	15人
3/25	父と子の料理教室 講 師：枚方市健康づくり食生活改善協議会 田畑 卿子 氏 他	24人

・プール教室

20年度より、市民講座の位置づけとして体力向上、健康増進を目的とした教室と、介助者なしでグループ練習形態指導を行う事により社会性などの向上、社会的な自立を目指した障害児水泳教室を開催。23年度は、下記の教室を開催。

教 室	開 催 日 程	開催日数	参加者延べ人数
アクアビクス教室	6月 2日～ 7月14日	7日	176人
	9月 8日～10月20日	7日	184人
	11月10日～12月22日	7日	176人
	1月19日～ 3月 1日	7日	195人
小学生低学年の水泳教室(障害児の部)	6月 1日～ 7月13日	7日	72人
	11月 2日～12月21日	7日	73人
	1月18日～ 2月29日	7日	68人
小学生高学年の水泳教室(障害児の部)	6月 3日～ 7月15日	7日	90人
	11月 4日～12月16日	7日	92人
	1月20日～ 3月 2日	7日	84人
水泳教室(障害者の部)	6月 1日～ 7月13日	7日	85人
	11月 2日～12月21日	7日	75人
	1月18日～ 2月29日	7日	71人
水泳教室(一般の部)	9月 5日～10月31日	7日	78人
水中体操教室	11月10日～12月22日	7日	165人
スポーツチャレンジ教室	8月 3日・ 4日・ 5日	3日間	45人
	8月3日・4日・5日(追加開催)	3日間	54人

	3月28日・29日・30日	3日間	41人
リフレッシュ講座	7月21日～ 8月25日	5日間 (5回)	124人
	11月27日～ 1月12日	5日間 (6回)	125人
	3月 4日～ 3月29日	5日間 (9回)	229人
中・高校生サポート セミナー	10月 7日～12月 2日	5日間	47人
	1月21日～ 3月16日	5日間	25人

*ボランティアセンターとの共催事業 (ボランティア活動推進事業で記載)

*ラポールいこいのミニライブ開催状況

グループ・サークルが日頃の練習成果を披露し、観客と膝と膝を合わせた一体感ある手作りライブを開催し、市民交流の場と位置づける。また、総合福祉会館の啓発を行い、新たな利用者の発掘を行う。

(開催状況)

月	回数	内 容
4	3	ハーモニカ演奏・アルピオーネ演奏・ハーモニカ演奏
5	3	フラダンス・キーボード弾き語り・フォークソングユニットライブ
6	4	フォークソングの弾き語り・踊り・ハーモニカ演奏・アコースティックギター弾き語り
7	4	アルピオーネ演奏・キーボード弾き語り・ギターマンドリン演奏・アコーディオン演奏
8	4	フォークギターキーボード演奏・アルピオーネ演奏・オカリナ演奏・ハーモニカ演奏
9	5	大人のための絵本の読み聞かせ・アルピオーネ演奏・キーボード弾き語り・オカリナ演奏等
10	5	ギターマンドリン演奏・オカリナ演奏・三味線演奏・ハーモニカ演奏・キーボード弾き語り
11	3	漫才・大人のための絵本の読み聞かせ・ハーモニカ演奏
12	3	キーボード弾き語り・ハーモニカ演奏・フォークソングの弾き語り
1	3	大人のための絵本の読み聞かせ・オカリナ演奏・キーボード弾き語り
2	3	ハーモニカ演奏・フォークソングの弾き語り・オカリナ演奏
3	4	歌とキーボード演奏・大人のための絵本の読み聞かせ・フルートとハーブの調べ等

会場は1階正面玄関エレベーター前で開催。

⑦研修事業の実施

職員の資質並びに利用者サービスの向上・安全管理の面から下記の研修会を実施。また、関係機関が実施した研修会等にも参加。

月 日	内 容	参加者数
4/18	サービスマナー・人権研修会	32人
5/ 8	温水プールスタッフ研修会 (監視の心得等)	14人
6/17	サービスマナー・セミナー研修 (中級リーダー)	2人
6/24	サービスマナー・セミナー研修 (中級リーダー)	2人
11/13	温水プールスタッフ研修会 (救急救命法)	9人